I-O DATA

高画質 MPEG-1/2 ビデオキャプチャボード
GV-VCP2M/PCI

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

73443-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
15) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS,MS-DOS,Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Ulead System,Ulead VideoStudio,PhotoImpactは、Ulead System社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになれば、ご使用のパソコンでビデオの映像を見たり、取り込んだ（キャプチャした）映像を編集することができます。

呼び方

Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98、およびWindows 95 の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 Workstation
GAシリーズ	GA-S2K/TNT2/SV4/VDBシリーズ
GEシリーズ	GE-GF2A

本製品の特徴

■高画質MPEG-1/2ビデオキャプチャに対応！

AVIビデオキャプチャはもちろん、ソフトウェアによるリアルタイムMPEG-1ビデオキャプチャを実現！ハードディスクの内容を圧縮せず、最大で連続3時間のキャプチャが可能。キャプチャした動画の編集や、CD-R/RWによる配布など、MPEG-1ならではの楽しみ方ができます。さらに添付の「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S)SE」※を使ってMPEG-2ファイルでのキャプチャ編集も可能になりました。

■ビデオオーバーレイ可能

I-O DATA VideoRecorder DSでは最大720×480ドットのサイズ※、I-O DATA VideoRecorderでは最大640×480ドットのサイズ（640×480ドットのサイズでオーバーレイ表示時にはキャプチャ不可）でビデオ表示およびキャプチャが可能です。

弊社GA/GEシリーズ(iページ参照)と併用することで、オーバーレイ機能を使用してビデオ映像をスムーズに表示できます。

■ ビデオ会議システムに最適

今までより安価にビデオ会議システムが構築できます。（Windows 2000では、NetMeetingは未対応）また、ビデオ入力端子、Sビデオ入力端子も標準装備していますので、家庭用ビデオカメラなどからも映像が入力できます。

■ ホームページ作成に最適

キャプチャした画像データは、添付ソフトを使用してインターネットのホームページ作成用の素材として加工できます。

※ Windows 2000でご利用いただく上では、以下の制限があります。

「Ulead VideoStudio 4」　：キャプチャサイズは320×240ドットまでです。

「I-O DATA VideoRecorder DS」：320×240ドットを超えるサイズでパソコン上に映像を表示しながらキャプチャすることはできません。

■ 豊富なビデオ入力端子

ビデオ入力端子2系統、Sビデオ入力端子1系統からビデオソースを選択できます。

■ すぐに使える！動画、静止画編集ソフト標準添付

キャプチャしたデータの加工に最適な著名な２つのタイトルを標準添付しました。

・動画編集ソフト「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」

DVD同等の驚異的品質をよりシンプル操作で実現できるビデオ編集ツールです。MPEG-2ファイルの入出力をフルサポートし、高画質映像が、小容量（AVIファイルの約1/4～1/10）で保存できます。

・静止画編集ソフト「日本語版 Ulead PhotoImpact 5 BE」

最新鋭の機能を持ち、直感的に使え、このソフトのみでウェブグラフィックとフォトレタッチを完成できます。また、ウェブに特化したイメージ編集機能がすべてそろっているので、初心者でもプロのような作品がすぐに作成できます。

上記の動画編集ソフト「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」および静止画編集ソフト「日本語版 Ulead PhotoImpact 5 BE」は、サービス品につき弊社ではサポートいたしかねます。
添付されている「Ulead Systems お客様保管用カード」をご覧になり、ユーリードシステムズ社にお問い合わせください。

■ 使いやすさ抜群

シンプルな画面で見やすく、使いやすい弊社オリジナルの
「I-O DATA VideoRecorder」（Windows Me/98/95/NT 4.0用）、
「I-O DATA VideoRecorder DS」（Windows 2000用）を添付しています。
お手持ちのビデオ機器から、動画（AVI・MPEG-1）や静止画（BMP）を簡単に取り込むことができます。

この説明書の読み方

以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。

第1章 取り付け前の準備 1ページ

本製品をパソコンに取り付ける前の準備を行います。

第2章 セットアップ 9ページ

本製品をパソコンに取り付け、ドライバのインストールを行います。

第3章 活用しよう 53ページ

添付アプリケーション
「I-O DATA VideoRecorder」もしくは
「I-O DATA VideoRecorder DS」
のインストール方法および設定・使用方法について説明します。

もくじ

第1章 取り付け前の準備…… 1

1．箱の中の確認…… 2
2．ユーザー登録をしよう…… 3
3．動作環境の確認…… 4
4．注意事項…… 7

第2章 セットアップ…… 9

1．取り付け前の確認…… 10
2．パソコンとの接続…… 13
3．Windows Me/98/95へのインストール…… 17
4．Windows 2000へのインストール…… 36
5．Windows NT 4.0へのインストール…… 47

第3章 活用しよう…… 53

1．アプリケーションのインストール …… 54
2．I-O DATA VideoRecorder …… 62
3．I-O DATA VideoRecorder DS … 81
4．MPEG-2キャプチャについて…… 103

ふろく

困った時には…… 106
仕様…… 128

サポートセンターへのお問い合わせ……129
サポートソフトのバージョンアップ……130
保証について……131
修理について……132

第1章

取り付け前の準備

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける前の準備について、順を追って説明しています。

1．箱の中の確認 2ページ

箱の中身を確認します。

2．ユーザー登録をしよう 3ページ

ユーザー登録を行います。

3．動作環境の確認 4ページ

本製品に必要な動作環境を確認します。

4．注意事項 7ページ

本製品を使用する際の注意事項、制限事項を説明します。

1．箱の中の確認

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
左の「□」にチェックを付けながら確認し、万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

	内容物	個数	備考
□	ビデオキャプチャボード	1枚	GV-VCP2M/PCI
□	GV-VCPシリーズサポートソフト	1枚	CD-ROM
□	日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE ※ 日本語版 Ulead PhotoImpact 5 BE ※ ※ サービス品	1式	・ユーリードVideoStudio（ビデオスタジオ）MPEG関連補足説明 ・Uleadソフトウェアライセンス契約 ・Ulead製品お客様保管用カード
☑	GV-VCP2M/PCI取扱説明書	1冊	本書
□	ハードウェア保証書	1枚	
□	ユーザー登録カード	1枚	
□	ハードウェアシリアルNO.シール	1枚	
□	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

※サービス品について

上記の動画編集ソフト「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」および静止画編集ソフト「日本語版 Ulead PhotoImpact 5 BE」は、サービス品につき弊社ではサポートできません。
添付の「Ulead Systemsお客様保管用カード」をご覧になり、ユーリードシステムズ社にお問い合わせください。

2．ユーザー登録をしよう

1 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ユーザー登録を行います。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

- **オンライン登録(http://www.iodata.co.jp/regist/)**

  インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
  上記のアドレスにある「オンラインユーザー登録」のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。
  オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

- **ハガキ登録**

  ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

3．動作環境の確認

本製品の動作環境を確認します。

対応機種

・PCIバスを搭載したNEC PC98-NXシリーズ
・PCIバス（2.1以降）を搭載したDOS/Vマシン※1
・NEC PCIバス搭載PC-9821シリーズ※2

※1 弊社では、OADGメーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。
※2 NEC PCIバス搭載PC-9821シリーズでは、Windows Me/2000/NT 4.0は未対応です。

パソコン本体のマザーボードにAli製、SiS製、またはVIA製のチップセットを搭載した一部の機種では動作に支障がでる場合があります。GV-VCPシリーズサポートソフト内のPCIINFO.EXEを起動して、ご確認ください。

[PCIINFO.EXEの使用方法]
①GV-VCPシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブにセットし、［スタート］→［プログラム］→［MS-DOSプロンプト］を起動します。
②「D:\PCIINFO.EXE」（CD-ROMドライブがDの場合）と入力すると情報が表示されます。
［分類］が［ホストブリッジ］となっているデバイスの［ベンダー］をご確認ください。(詳細についてはPCIINFO.TXTをご覧ください。)

対応OSと動作環境

・**Windows Me/98（Second Edition含む）/95/NT 4.0**

CPU：Pentium 100MHz以上

※ MPEG-1でのキャプチャには、MMX Pentium 166MHz以上が必要です。

メモリ：16Mバイト以上

CD-ROMドライブ：ソフトウェアのインストール時に必要

DirectX5.0以上をインストールした環境

・**Windows 2000**

CPU：Pentium 133MHz以上

※ MPEG-1でのキャプチャには、MMX Pentium 166MHz以上が必要です。

メモリ：32Mバイト以上

CD-ROMドライブ：ソフトウェアのインストール時に必要

DirectX8.0以上をインストールした環境

（DirectX8.0はGV-VCPシリーズサポートソフトに収録されています。）

弊社製DirectDraw対応PCIバスまたはAGPスロット接続グラフィックアクセラレータボード（GA/GEシリーズ、【はじめに】ｉページ参照）以外の環境でご利用の場合、オーバーレイ表示画面の一部にノイズがでたり、画像が表示されない場合があります。

推奨環境

・**Windows Me/98（Second Edition含む）/95/NT 4.0**

CPU：Pentium 133MHz以上

※ MPEG-1でのキャプチャには、PentiumⅡ 300MHz以上を推奨。

メモリ：32Mバイト以上

サウンド：サウンドブラスターシリーズ推奨

・**Windows 2000**

CPU：MMX Pentium 200MHz以上

※ MPEG-1でのキャプチャには、PentiumⅡ 300MHz以上を推奨。

メモリ：64Mバイト以上

サウンド：サウンドブラスターシリーズ推奨

日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE使用時の動作環境

・OS：Windows Me
　　Windows 98（Second Edition含む）
　　Windows 95（OSR2か、それ以上）
　　Windows 2000※
　　Windows NT 4.0（Service Pack4以上）
・CPU：Pentium MMX 166MHz以上（MPEG-2キャプチャ時はPentumIII 500MHz以上）
・メモリ：32Mバイト以上（MPEG-2キャプチャ時は64MB以上）
・HDD：80Mバイト以上の空き容量
・グラフィック：800×600以上、16bitハイカラー以上
・その他：音声キャプチャ用にサウンドカード、インストール用にCD-ROMドライブが必要です。

※ 320×240ドットを超えるサイズではキャプチャすることはできません。

詳しくは添付の「ユーリードVideoStudio（ビデオスタジオ）MPEG関連補足説明」をご確認ください。

接続できる映像機器

・ピンプラグ形状の映像出力端子をもつ映像機器（2台）
・Sビデオの映像出力端子をもつ映像機器（1台）

※ 一度に表示できる映像は上記のうち１つのみです。

4．注意事項

本製品添付の『安全で快適にお使いいただくために』もあわせてご覧ください。
また、GV-VCPシリーズサポートソフト内の「README.TXT」を必ずご覧ください。

使用する際の注意

○本製品の取り付けや取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。

○ボードに静電気が流れるとボード上の部品が破壊されるおそれがあります。入出力コネクタ部や部品面には直接手を触れないでください。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、ボードを取り付けたり取り外したりする前にスチール・キャビネットなどの金属製の物に触れて静電気を必ず逃がしてください。

○本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

○本製品に対し、以下のことにご注意ください。火災・感電・動作不良の原因になります。

・分解や改造などをしないでください。
・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

○本製品の接続端子には指定したケーブル・機器以外は接続しないでください。

○本製品の制限事項

・弊社GA/GEシリーズと併用した場合、本製品の動作中（本製品を利用してビデオのオーバーレイ表示を行っている場合等）は、弊社GA/GEシリーズのディスプレイ機能で「ビッグスクリーン」、「ハードウェアズーム」、「解像度の変更」は使用できません。

・DPMSモード（CRT省電力モード）から通常状態に戻った時や、MS-DOSモードから復帰した時などに、本製品の画面が乱れる場合があります。本製品の表示ウィンドウを再起動するか、表示位置をずらすと正常に戻ります。

４．注意事項

・Windows 2000の場合は、320×240を超えるサイズでは、プレビュー/オーバーレイ表示とキャプチャを同時に行うことはできません。また、NetMeetingは未対応です。

・ライン入力のないサウンドボードがない場合は、音声のキャプチャを行うことができません。

○弊社製品GV-VCP/PCI、GV-BCTVシリーズなどのキャプチャ製品との併用はできません。また、本製品の複数使用もできません。
その他のキャプチャ製品と併用する場合は、あらかじめマルチメディアのプロパティで本製品以外のビデオキャプチャデバイスを使用しない設定にしておいてください。

○接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはピンプラグまたはSビデオの映像コードが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

○ACPI（省電力）機能やサスペンド機能、その他の省電力機能には対応しておりません。あらかじめこれらの機能を動作させないよう設定しておいてください。

○本製品は割り込み（IRQ）を１つ使用します。IRQの空きを確保してください。
共有（シェアリング）は行えません。

○本製品の内部の点検・修理は弊社サポートセンターにご依頼ください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】（129ページ）参照）

第2章

セットアップ

この章では、本製品をパソコンへ取り付け、ドライバをインストールする方法について順を追って説明します。

1．取り付け前の確認 10ページ

本製品を取り付ける前の確認事項について説明します。

2．パソコンとの接続 13ページ

お手持ちのパソコン本体に取り付けます。

3．Windows Me/98/95へのインストール 17ページ

ご使用のOSがWindows Me/98/95の場合のドライバのインストール方法です。

4．Windows 2000へのインストール 36ページ

ご使用のOSがWindows 2000の場合のドライバのインストール方法です。

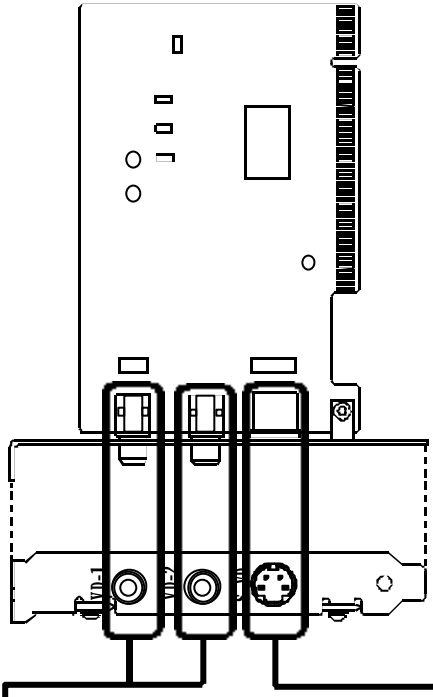
5．Windows NT 4.0 へのインストール 47ページ

ご使用のOSがWindows NT 4.0の場合のドライバのインストール方法です。

1．取り付け前の確認

本製品をパソコンに取り付ける前に、各部の名称をご確認ください。

各部の名称・機能



ビデオ入力
テレビやビデオに映像ケーブルを使って接続します。

Sビデオ入力
S端子付きのテレビやビデオにS端子用ケーブルを使って接続します。

割り込み（IRQ）の空きの確認をする

本製品は割り込み（IRQ）を1つ使用します。割り込みの空きがないと本製品は使用できません。

0～15のIRQが全て何らかのデバイスによって使用されている場合、割り込みの空きがない状態です。割り込みの空きがないと本製品は使用できません。（割り込みの共有（シェアリング）はできません。）使用していない機器等があれば取り外したり無効にして、割り込みの空きを作ってください。

Windows Me/98/95の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]アイコンをダブルクリックし、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

[コンピュータ]が選択された状態で[プロパティ]ボタンをクリックすれば、IRQの使用状況を確認することができます。

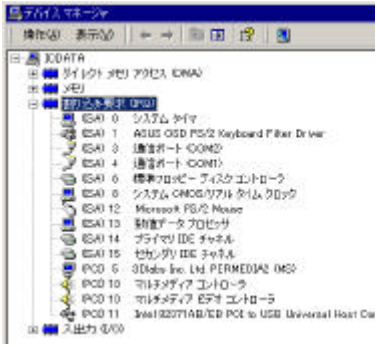
▼ IRQ9、10が空きになっている例

１．取り付け前の確認

Windows 2000の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]アイコンをダブルクリックし、[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、[表示]で[リソース（種類別）]を選択します。
[割込み要求（IRQ）]をダブルクリックすれば、IRQの使用状況を確認することができます。

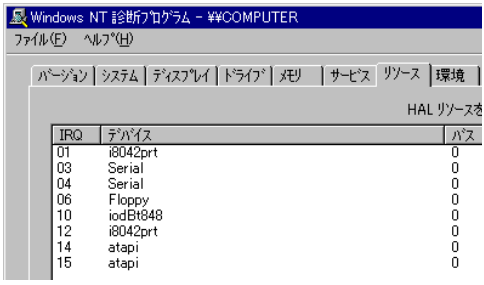
▼ IRQ2、7、9が空きになっている例



Windows NT 4.0の場合

[スタート]→[プログラム]→[管理ツール（共通）]→[Windows NT診断プログラム]を起動し、[リソース]タブをクリックすれば、IRQの使用状況を確認することができます。

▼ IRQ2、5、7、8、9、11、13が空きになっている例



2．パソコンとの接続

ここでは、本製品をパソコンに接続する方法を説明します。
以下の手順にそって取り付けてください。

ご用意いただくもの

・映像機器（テレビやビデオなど）
・映像ケーブル（Sビデオ入力を使用する場合はS端子に対応したもの）
・サウンドカード、およびオーディオケーブル
（映像機器の音声も取り込む場合に用意）

パソコンへの取り付け

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ずパソコン本体および周辺機器の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

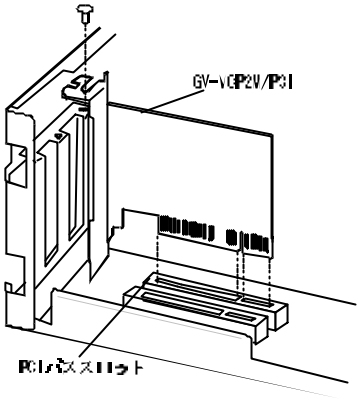
1　パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

2　パソコンのカバーを取り外します。
取り外し方法については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

3　空いているPCIバススロットのスロットカバーを取り外します。

4 PCIバススロットに本製品を取り付けます。

本製品がPCIバススロットに確実に装着されることを確認しながら押し込みます。ご使用のパソコンによっては、本製品の部品面を上に向けて差し込む場合や、本製品を垂直に差し込む場合等があります。詳細はパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。



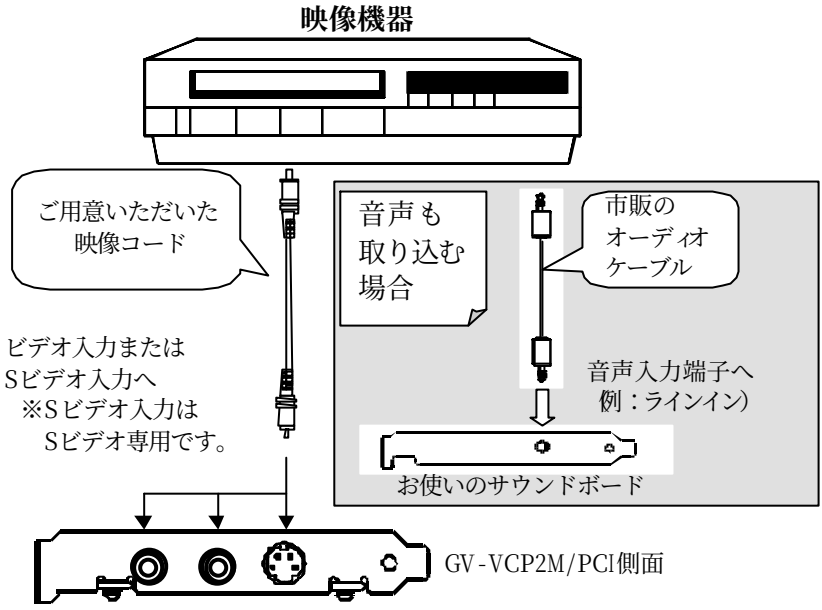
5 スロットカバー用のネジを取り付けます。

本製品がPCIバススロットに確実に固定されるように取り付けます。

6 取り外したパソコンカバーおよびすべての周辺機器のケーブルを元に戻します。

7　映像機器を接続します。

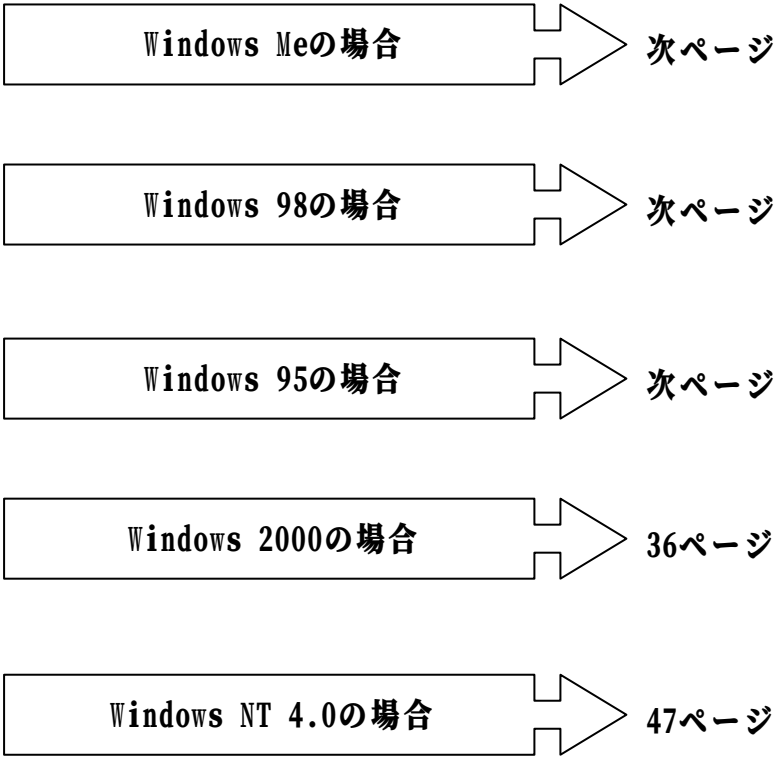
本製品のビデオ入力またはSビデオ入力と、ビデオなどの映像機器の映像出力端子を、ご用意いただいた映像コードで接続します。



※Windowsの録音設定が必要になる場合があります。
（118ページ参照）

以上で取り付けは終了です。

次に、ドライバのインストールを行います。
ご使用のOSに合わせて進んでください。



3. Windows Me/98/95へのインストール

ここでは、ご使用の各OSに本製品のドライバをインストールします。
各OSごとに必要な個所のみお読みください。

※ PC-9821シリーズの場合は、Windows 98/95のみ対応です。

Windows Meの場合 → **次ページ**

本製品をWindows Meでご使用の場合のインストール方法です。

Windows 98の場合 → **21ページ**

本製品をWindows 98でご使用の場合のインストール方法です。

Windows 95の場合 → **26ページ**

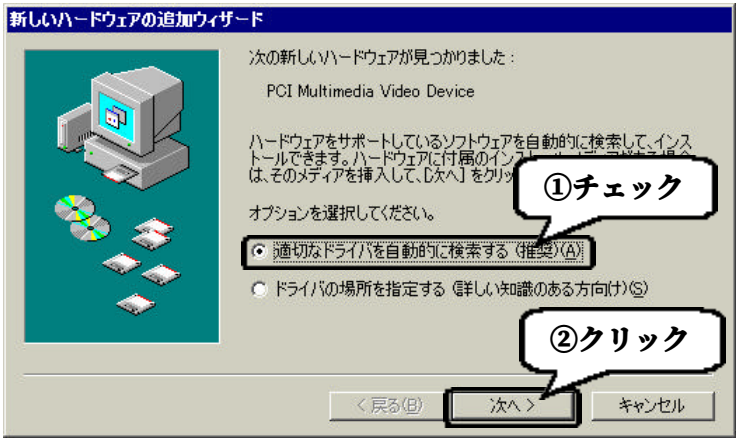
本製品をWindows 95でご使用の場合のインストール方法です。

Windows Meの場合

1 Windows Meを起動します。

2 GV-VCPシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

3 以下の画面が表示されたら、[適切なドライバを自動的に検索する]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



本製品のインストールが正常に終了すると次回から上の画面は表示されません。インストールが終了していない状態で上の画面が表示されない場合は以下の原因が考えられます。

・本製品がPCIバススロットに正しく取り付けられていない。
　→確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
　→取り付けるスロットを変更してお試しください。
・【困った時には】(106ページ)をご覧ください。

4 **[高画質キャプチャボード・・・]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。**

5 **[完了]ボタンをクリックします。**

6 **パソコンを再起動します。**

「再起動しますか？」という画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

7 再度、手順 3~ 4 を行います。

手順 **3** の画面では「PCI Multimedia Device」と表示されます。

8 [完了] ボタンをクリックします。

以上で、ドライバのインストールは終了です。次に【インストール終了後の確認】（33ページ）へお進みください。

Windows 98の場合

1 Windows 98を起動します。

2 以下の画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックします。

本製品のインストールが正常に終了すると次回から上の画面は表示されません。インストールが終了していない状態で上の画面が表示されない場合は以下の原因が考えられます。

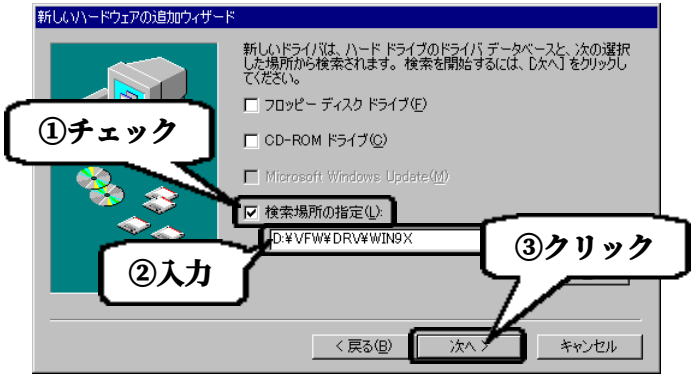
・本製品がPCIバススロットに正しく取り付けられていない。
　→確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
　→取り付けるスロットを変更してお試しください。
・【困った時には】(106ページ)をご覧ください。

3 **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ］をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**

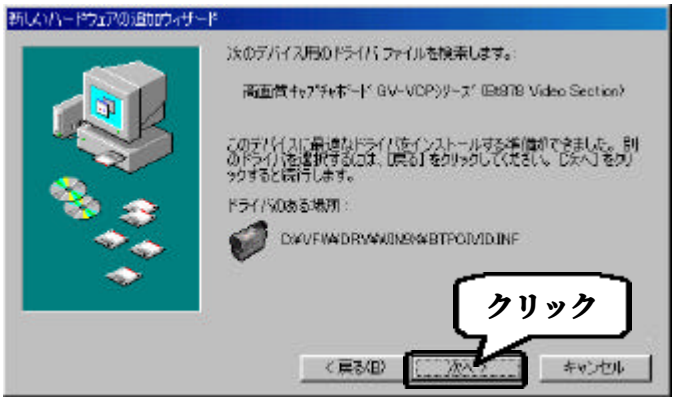
4 **GV-VCP シリーズサポートソフトをCD-ROM ドライブにセットします。**

5 **［検索場所の指定］のみをチェック後、以下のように入力し、[次へ] ボタンをクリックします。**

D:\VFW\DRV\WIN9X （CD-ROMドライブがDドライブの場合）



6 [次へ] ボタンをクリックします。



7 [完了] ボタンをクリックします。

8 パソコンを再起動します。

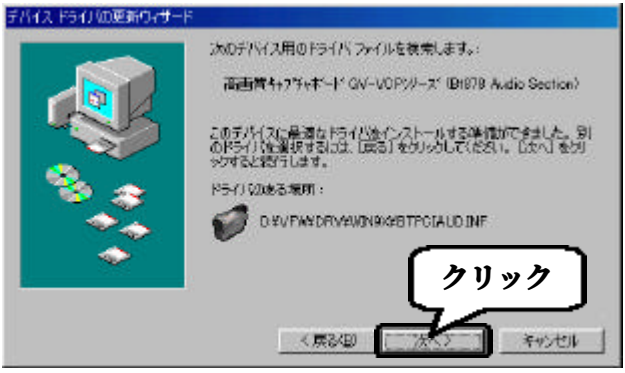
「再起動しますか？」という画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

9 再度、手順 2~ 5 を行います。

手順 **2** の画面では「PCI Multimedia Device」と表示されます。

10 [次へ] ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。以下の画面が表示されない場合は[戻る]ボタンをクリックし、 **5** の設定に間違いがないかご確認ください。



11 ［完了］ボタンをクリックします。

以上で、ドライバのインストールは終了です。【インストール終了後の確認】（33ページ）へお進みください。

Windows 95の場合

1 Windows 95を起動します。

2 以下のどちらかの画面が表示されます。
それぞれの画面でインストール方法が異なりますので、
以下の各ページをご覧ください。

**Windowsのバージョンが
4.00.950/4.00.950aの場合**

次ページ参照

**Windowsのバージョンが
4.00.950 B/4.00.950 Cの場合**

29ページ参照

本製品のインストールが正常に終了すると次回から上の画面は表示されません。
インストールが終了していない状態で上の画面が表示されない場合は以下の原因が考えられます。

・本製品がPCIバススロットに正しく取り付けられていない。
　→確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
　→取り付けるスロットを変更してお試しください。
・【困った時には】(106ページ)をご覧ください。

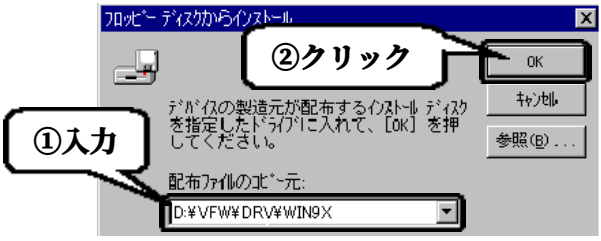
Windows 95 4.00.950/4.00.950aの場合

3 **[ハードウェアの製造元が提供するドライバ] をチェックし、[OK] ボタンをクリックします。**

4 **GV-VCPシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。**

5 **［配布ファイルのコピー元］に以下のように入力後、[OK] ボタンをクリックします。**

D:\VFW\DRV\WIN9X （CD-ROMドライブがDドライブの場合）



6 **パソコンを再起動します。**

「再起動しますか？」という画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

7 **再度、手順 2~ 5 を行います。**

手順 **2** の画面では［PCI Multimedia Device］と表示されます。

以上で、ドライバのインストールは終了です。次に【インストール終了後の確認】（33ページ）へお進みください。

Windows 95 4.00.950 B/4.00.950 Cの場合

3 **[次へ] ボタンをクリックします。**

4 **[場所の指定] ボタンをクリックします。**

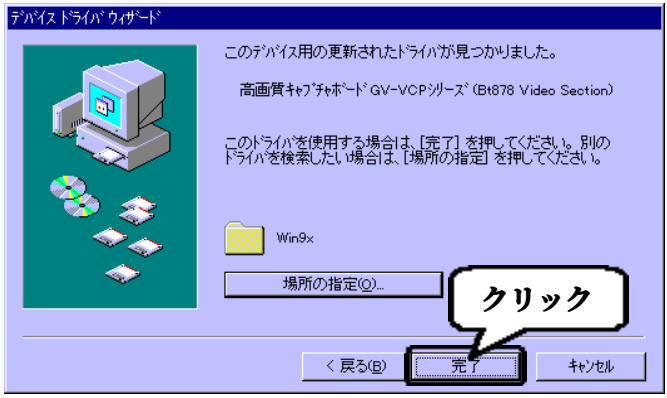
5 **GV-VCP シリーズサポートソフトをCD-ROM ドライブにセットします。**

6　［場所］に以下のように入力後、[OK]ボタンをクリックします。

D:\VFW\DRV\WIN9X　(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

7　[完了]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。



ここで、以下の画面が表示された場合は、[OK]ボタンをクリック後、[ファイルのコピー元]に

D:\VFW\DRV\WIN9X　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

8　パソコンを再起動します。

［再起動しますか？］という画面が表示されたら、GV-VCPシリーズサポートソフトを抜き、[はい]ボタンをクリックします。

9　再度、手順 2~ 5 を行います。

手順 **2** の画面では［PCI Multimedia Device］と表示されます。

10 [完了] ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

ここで、以下の画面が表示された場合は、[OK]ボタンをクリック後、[ファイルのコピー元]に

D:\VFW\DRV\WIN9X　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

11 パソコンを再起動します。

以上で、ドライバのインストールは終了です。次に【インストール終了後の確認】（次ページ）へお進みください。

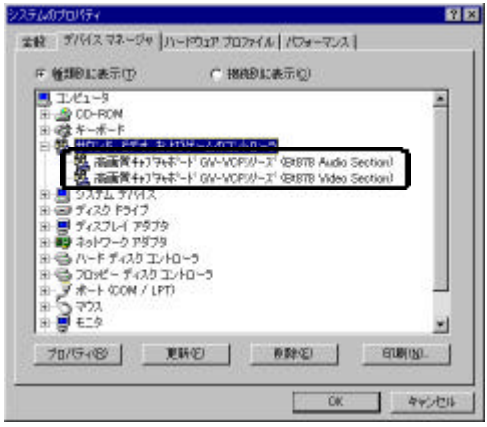
インストール終了後の確認

ここでは、Windows Me/98/95上で本製品が、正常に認識されているかどうかの確認方法について説明します。インストール終了後、必ず確認してください。

1　［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックし、［システム］をダブルクリックします。

2　［システムのプロパティ］画面の［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

［サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ］をダブルクリックし、[高画質キャプチャボード GV-VCPシリーズ（Bt878 Audio Section）]、[高画質キャプチャボード GV-VCPシリーズ（Bt878 Video Section）]の2つのドライバの表示があることを確認します。
また、頭に！マークや？マークが付いていないことも確認します。

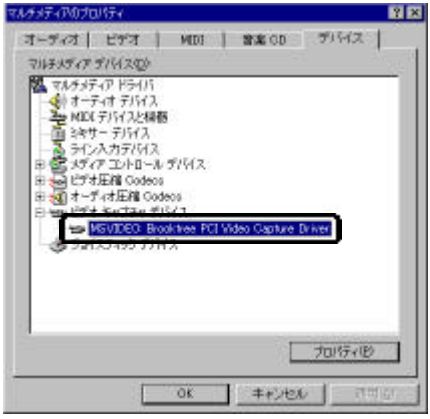


正常に認識されていない場合は・・・ **122ページを参照し、リソースの確認、変更を行ってください。**

3　［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の［マルチメディア］アイコン（Windows Me の場合は、[サウンドとマルチメディア] アイコン）をダブルクリックします。

4 ［デバイス］タブ(Windows 95 の場合は［詳細設定］タブ) をクリックします。

[ビデオキャプチャデバイス]をダブルクリックし、［MSVIDEO: Brooktree PCI Video Capture Driver］のみが表示（認識）されていることを確認します。



正常に表示されていることが確認されたら、「I-O DATA VideoRecorder」のインストールを行ってください。（55ページ以降参照）

他のビデオキャプチャデバイスがある場合は以下を参照してください。

他のビデオキャプチャデバイスがある場合

以下のようにプロパティ画面を開いて、[このビデオキャプチャデバイスを使わない]にチェックするか、または削除してください。

※ 本製品のドライバにはこの作業は行わないでください。

インストールした情報を削除するには

パソコンから本製品を取り外したい場合や、再度ドライバをインストールし直す場合は、【I-O DATA VideoRecorderを削除するには】（80ページ）を参照してアプリケーションソフトウェアを削除した後で、下記内容を実行してください。

削除方法

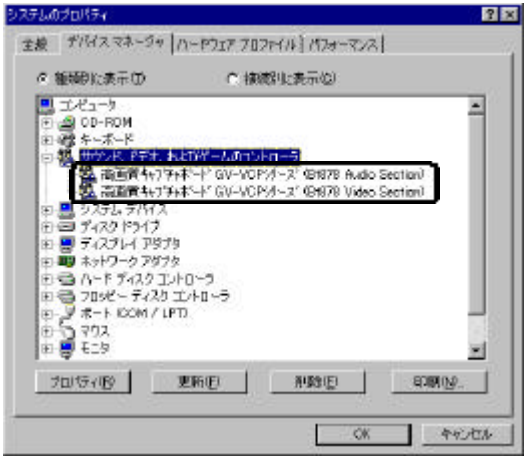
①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックし、［システム］アイコンをダブルクリックします。

②［システムのプロパティ］ウィンドウの［デバイスマネージャ］で［サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ］をダブルクリックします。

③［高画質キャプチャボードGV-VCPシリーズ（Audio Section）］を選択した状態で[削除]ボタンをクリックします。

④後は、画面の指示に従います。

⑤同様に［高画質キャプチャボードGV-VCPシリーズ（Video Section）］も削除します。



ドライバを削除した後、**本製品を取り外す場合**は、Windows Me/98/95を終了してパソコンの電源を切った後に取り外してください。

また、**再度インストールし直す場合**は、Windows Me/98/95を再起動してから、【3.Windows Me/98/95へのインストール】（17ページ）を参照しドライバのインストールを行ってください。

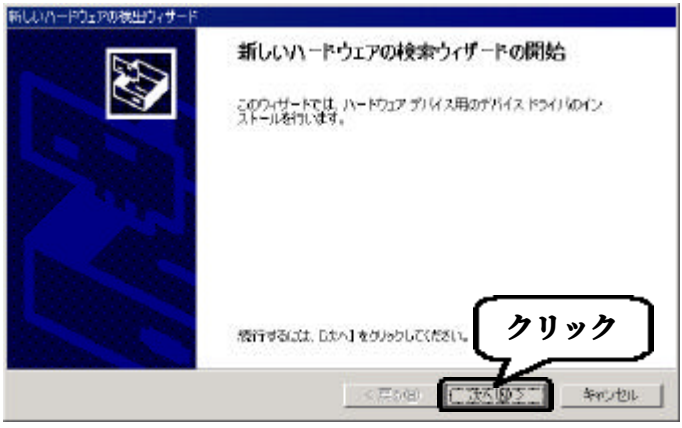
4. Windows 2000へのインストール

1 Windows 2000を起動します。

2 Administrator権限でログインします。

3 GV-VCPシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

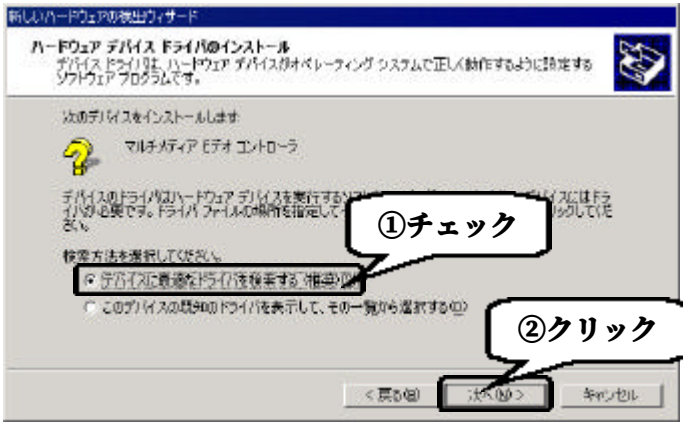
4 以下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



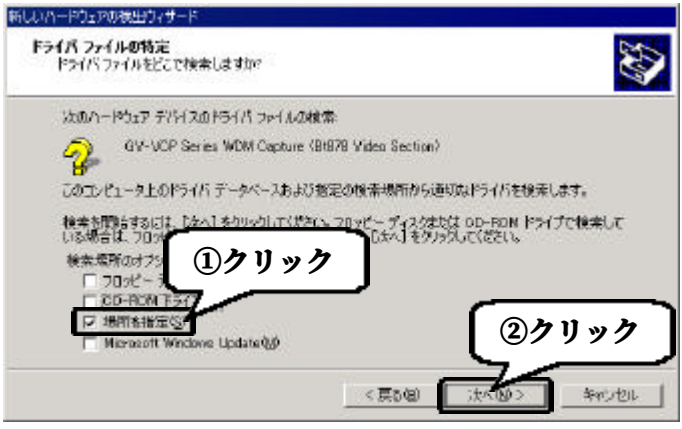
本製品のインストールが正常に終了すると次回から上の画面は表示されません。インストールが終了していない状態で上の画面が表示されない場合は以下の原因が考えられます。

・本製品がPCIバススロットに正しく取り付けられていない。
　→確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。
　→取り付けるスロットを変更してお試しください。
・【困った時には】(106ページ)をご覧ください。

5 **[デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**



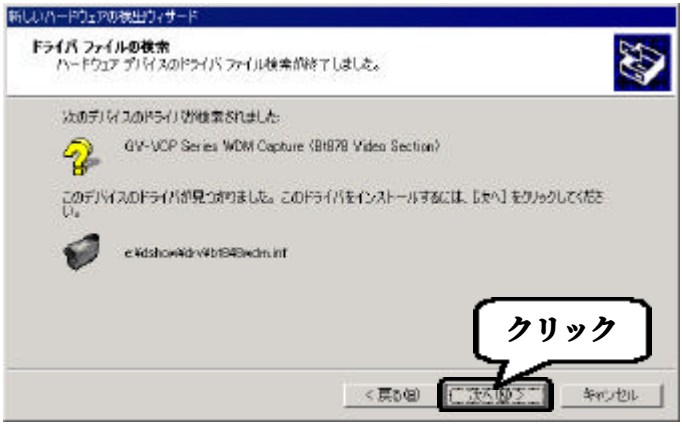
6 **[場所を指定] のみをチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**



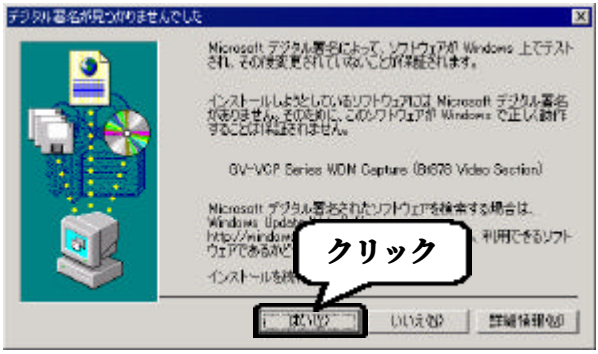
7 **[製造元のファイルのコピー元] に以下のように入力後、[OK] ボタンをクリックします。**

D:\DSHOW\DRV　(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

8 **[次へ] ボタンをクリックします。**



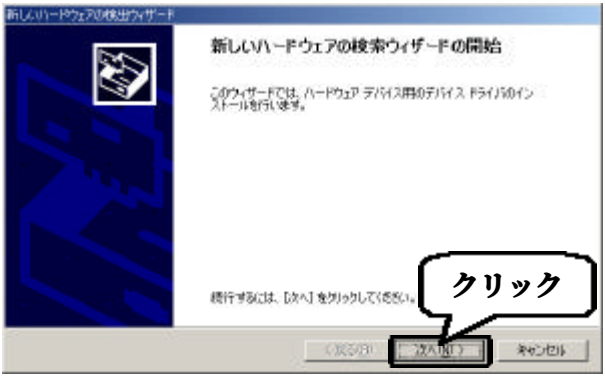
9 **[はい] ボタンをクリックします。**



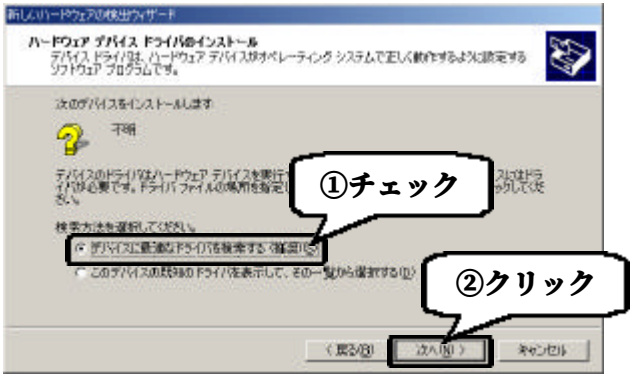
10 **[完了] ボタンをクリックします。**

11 [はい] ボタンをクリックします。

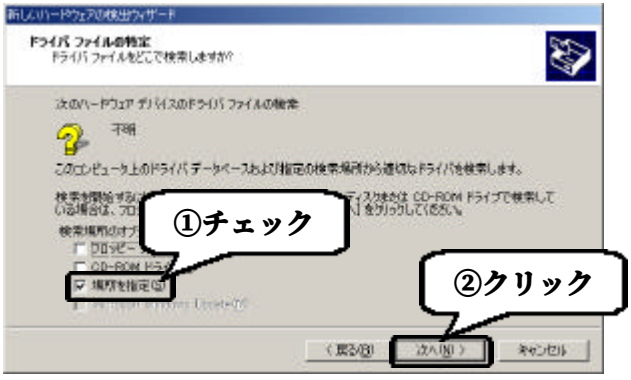
12 [次へ] ボタンをクリックします。



13 **[デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**



14 **[場所を指定] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。**

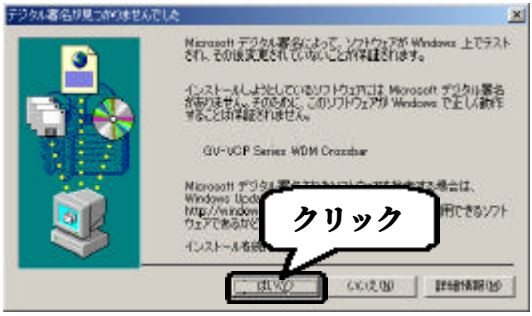


15 **[製造元のファイルのコピー元] に以下のように入力後、[OK] ボタンをクリックします。**

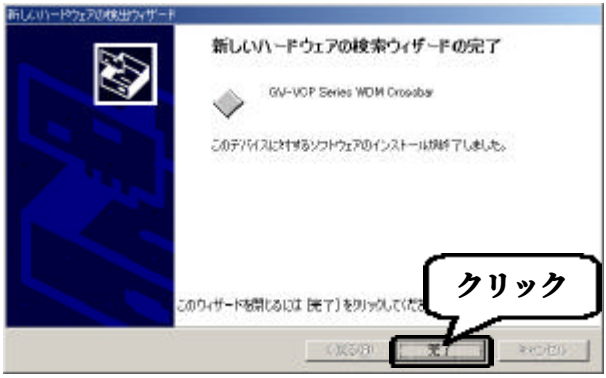
D:\DSHOW\DRV　(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

16 **[次へ] ボタンをクリックします。**

17 **[はい] ボタンをクリックします。**



18 [完了] ボタンをクリックします。



以上で、ドライバのインストールは終了です。次に【インストール終了後の確認】（次ページ）へお進みください。

インストール終了後の確認

ここでは、Windows 2000上で本製品が、正常に認識されているかどうかの確認方法について説明します。インストール終了後、必ず確認してください。

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックし、［システム］アイコンをダブルクリックします。**

2 **［ハードウェア］タブ→[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。**

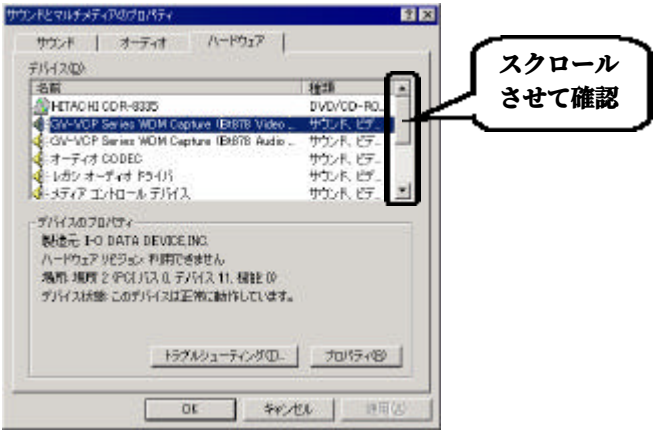
［サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ］をダブルクリックし、[GV-VCP Series WDM・・・]の3つのドライバの表示があることを確認します。
また、頭に！マークや？マークが付いていないことも確認します。

正常に認識されていない場合は・・・ **122ページを参照し、リソースの確認、変更を行ってください。**

3 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の［サウンドとマルチメディア］アイコンをダブルクリックします。**

4 ［ハードウェア］タブをクリックします。

[GV-VCP Series WDM・・・]の3つのドライバの表示があることを確認します。（表示が隠れている場合は、スクロールして確認してください。）



正常に表示されていることが確認されたら、「I-O DATA VideoRecorder DS」のインストールを行ってください。（59ページ以降参照）

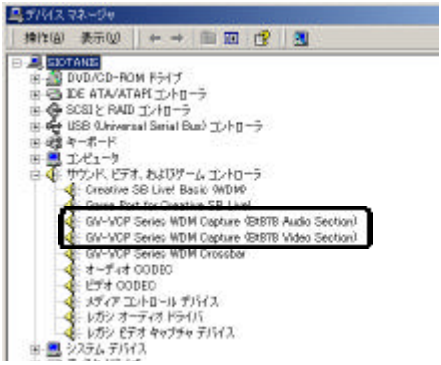
インストールした情報を削除するには

パソコンから本製品を取り外したい場合や、再度ドライバをインストールし直す場合は、【I-O DATA VideoRecorder DSを削除するには】（102ページ）を参照してアプリケーションソフトウェアを削除した後で、下記内容を実行してください。

削除方法

①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックし、［システム］アイコンをダブルクリックします。

②［システムのプロパティ］→[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、［サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ］をダブルクリックします。



③［GV-VCP Series WDM Capture（Bt878 Audio Section）］を選択した状態で[削除]ボタンをクリックします。

④後は、画面の指示に従います。

⑤同様に［GV-VCP Series WDM Capture（Bt878 Video Section）］も削除します。
（[GV-VCP Series WDM Crossbar]も同時に削除されます。）

ドライバを削除した後、**本製品を取り外す場合**は、Windows 2000を終了してパソコンの電源を切った後に取り外してください。

また、**再度インストールし直す場合**は、Windows 2000を再起動してから、【4.Windows 2000へのインストール】（36ページ）を参照しドライバのインストールを行ってください。

5. Windows NT 4.0へのインストール

ここでは、Windows NT 4.0に本製品のドライバをインストールします。

《インストール前の注意事項》
- **オーバーレイ表示を行う場合、併用するグラフィックボードにより、解像度・色数等に制限がある場合があります。**
- **解像度・色数・リフレッシュレートの変更を行った場合は、必ず再起動してから、本製品をご利用ください。**

1 **Windows NT 4.0を起動します。**

2 **Administrator権限でログインします。**

3 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から、［マルチメディア］を開きます。**

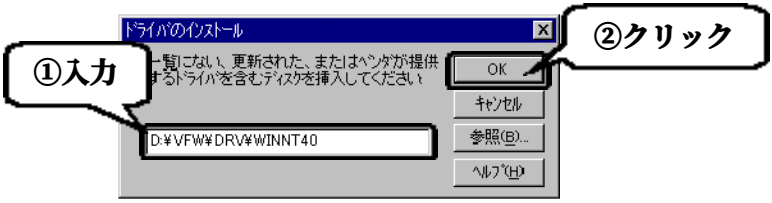
4 **すでに別のビデオキャプチャデバイスが登録されている場合は、各取扱説明書を参照し、事前に削除しておいてください。**

5 **[デバイス] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。**

6 **［一覧にない、または更新されたドライバ］をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。**

7 **GV-VCPシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブにセットし、以下のように入力後、[OK]ボタンをクリックします。**

D:\VFW\DRV\WINNT40 （CD-ROMドライブがDドライブの場合）



8 **［I-O DATA Bt848 Capture Driver］をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。

9 **[OK]ボタンをクリックします。**

10 コピー終了後に再度、６、７を実行し、８で［Brooktree YUV 411（Y41P） Video Codec］を選択し[OK]ボタンをクリックします。

以上でドライバの登録は終了です。次に、「I-O DATA VideoRecorder」のインストールを行ってください。（55ページ以降参照）

インストールした情報を削除するには

パソコンから本製品を取り外したい場合や、再度ドライバをインストールし直す場合は、【I-O DATA VideoRecorderを削除するには】（80ページ）を参照してアプリケーションソフトウェアを削除した後で、下記内容を実行してください。

削除方法

①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックし、［マルチメディア］アイコンをダブルクリックします。

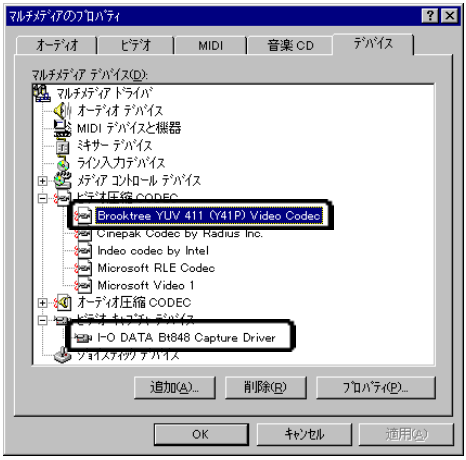
②［デバイス］タブをクリックします。

③［ビデオ圧縮CODEC］の下の［Brooktree YUV 411(Y41P) Video Codec］を選択します。

④[削除]ボタンをクリックします。

⑤後は、画面の指示に従ってください。

⑥同様にして［ビデオキャプチャデバイス］の下の［I-O DATA Bt848 Capture Driver］も削除してください。



ドライバを削除した後、 **本製品を取り外す場合** は、Windows NT 4.0を終了してパソコンの電源を切った後に取り外してください。

また、 **再度インストールし直す場合** は、Windows NT 4.0を再起動してから、【5.Windows NT 4.0へのインストール】（47ページ）を参照しドライバのインストールを行ってください。

MEMO

第3章

活用しよう

この章では、添付アプリケーションのインストール方法および設定方法について説明します。

1．アプリケーションのインストール 54ページ

添付アプリケーションのインストール方法を説明します。

2．I-O DATA VideoRecorder 62ページ

接続した映像機器の映像を見たり、表示された映像を動画や静止画として保存する方法などについて説明します。
（Windows Me/98/95/NT 4.0用）

3．I-O DATA VideoRecorder DS 81ページ

接続した映像機器の映像を見たり、表示された映像を動画や静止画として保存する方法などについて説明します。
（Windows 2000用）

4．MPEG-2キャプチャについて 103ページ

MPEG-2キャプチャは、「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」で行います。

1. アプリケーションのインストール

本製品には、Windows Me/98/95/NT 4.0用の「I-O DATA VideoRecorder」と、Windows 2000用の「I-O DATA VideoRecorder DS」というアプリケーションソフトが収録されています。ご使用のOSに合わせてインストールしてください。

これらは、接続した映像機器の映像を見たり、表示された映像を動画（MPEG-1ファイル、AVIファイル）や静止画（BMPファイル）として保存するためのアプリケーションソフトです。

キャプチャされた映像はWindowsで作成した文書や、ホームページなどに貼り込んだり、市販の編集ソフトを使って自由に変更することができます。

Windows Me/98/95/NT 4.0をお使いの場合 **次ページ**

「I-O DATA VideoRecorder」をインストールします。

Windows 2000をお使いの場合 **59ページ**

「I-O DATA VideoRecorder DS」をインストールします。

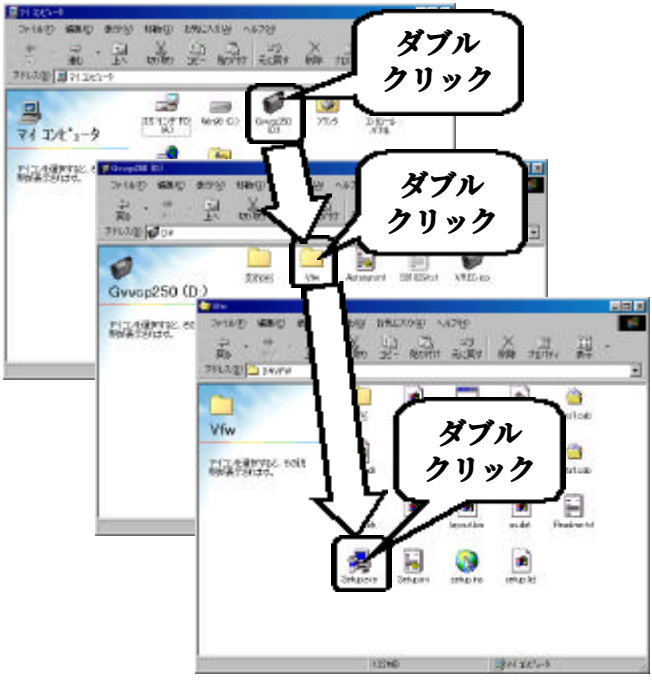
I-O DATA VideoRecorderをインストール

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

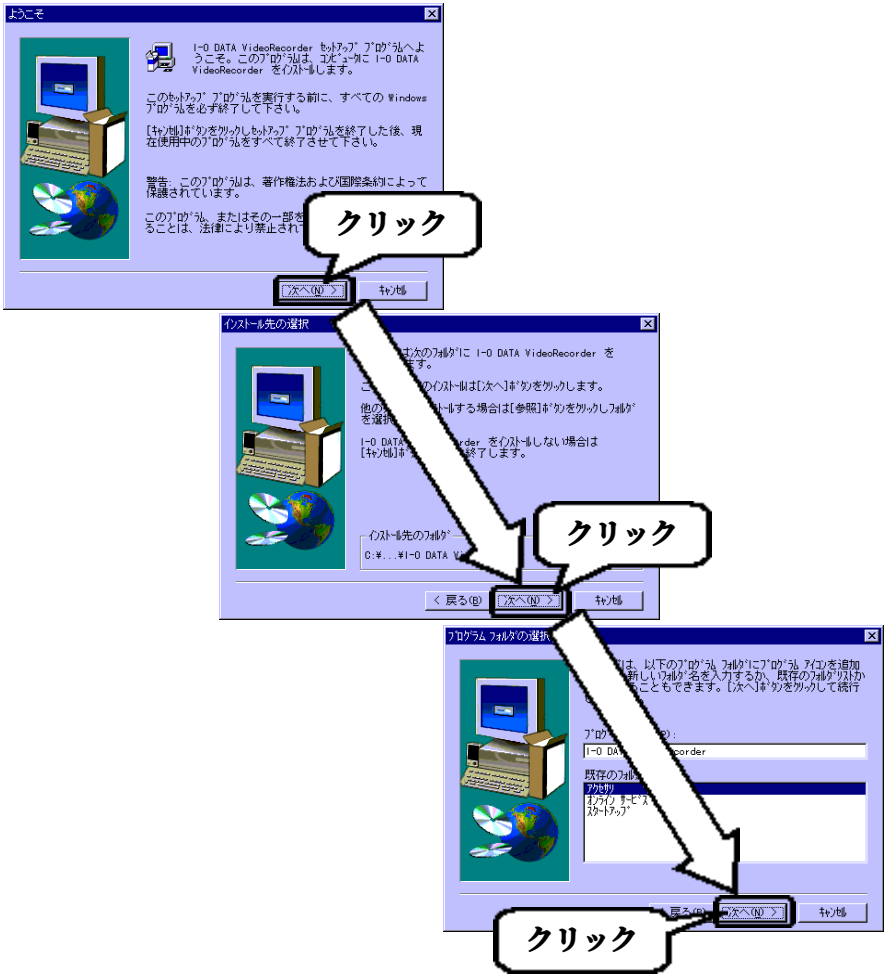
2 Windows NT 4.0 の場合は、Administrator 権限でログインします。

3 「GV-VCP シリーズサポートソフト」をCD-ROM ドライブにセットします。

4 [マイコンピュータ] →CD-ROM ドライブアイコン→ [VFW] フォルダ→ [Setup] (またはSetup.exe) アイコンを順にダブルクリックします。



5　画面の指示にしたがって操作を進めます。



6　[完了] ボタンをクリックします。

次に、DirectX8.0のインストールを行います。

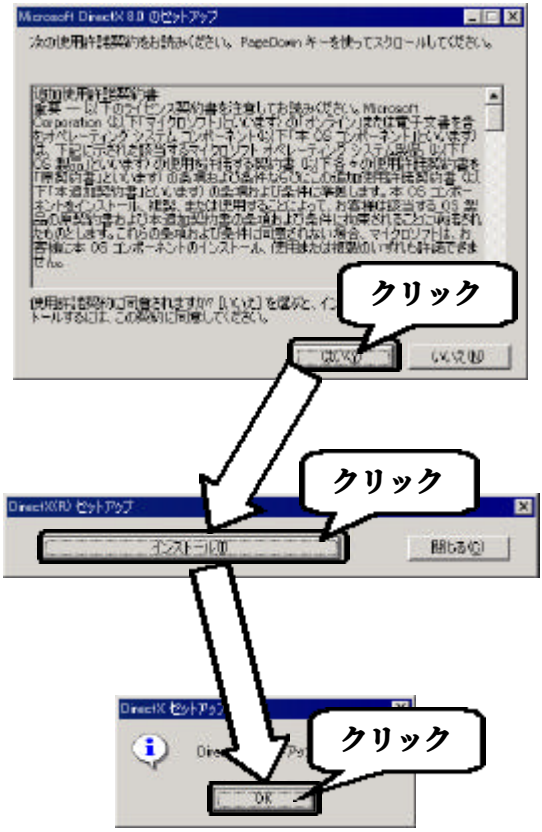
※ 本アプリケーションには、DirectX5.0以上の環境が必要です。
　DirectX5.0以上が入っていない環境の場合は、以下の操作を行ってください。

DirectX8.0をインストール

1　「GV-VCP シリーズサポートソフト」をCD-ROM ドライブに挿入します。

2　[マイコンピュータ] →CD-ROM ドライブアイコン→［DSHOW］フォルダ→［DX8］フォルダ→[DXSETUP](またはDXSETUP.EXE) アイコンを順にダブルクリックします。

3　画面の指示に従って操作します。



以上でインストールは終了です。

【2.I-O DATA VideoRecorder】（62ページ）を参照し、実際に使ってみましょう。

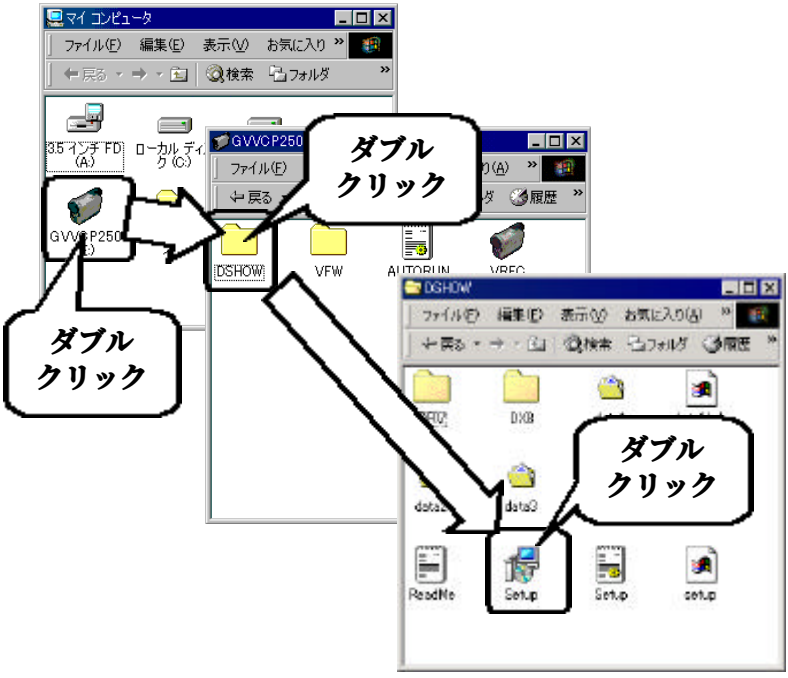
I-O DATA VideoRecorder DSをインストール

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。

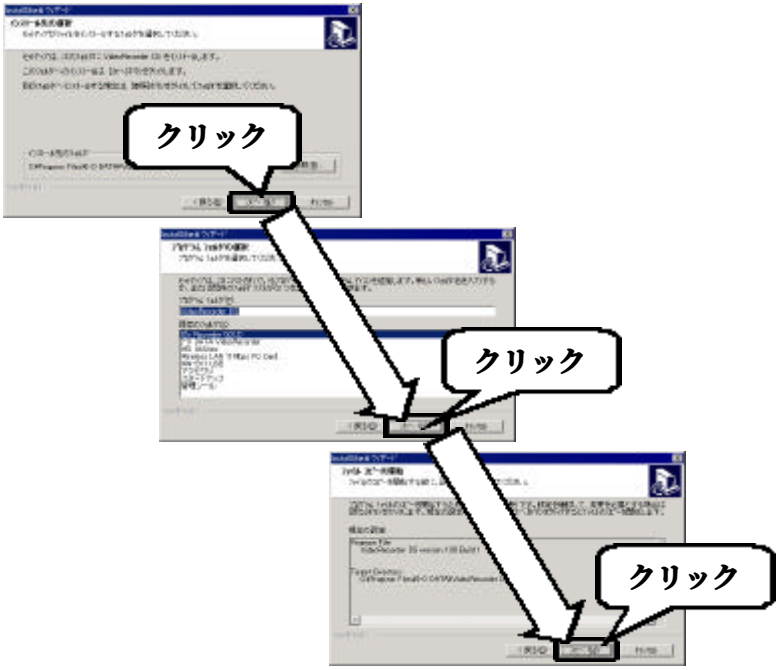
2 Administrator権限でログインします。

3 「GV-VCPシリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

4 [マイコンピュータ]→CD-ROMドライブアイコン→［DSHOW］フォルダ→［Setup］(またはSetup.exe)アイコンを順にダブルクリックします。



5　画面の指示にしたがって操作を進めます。

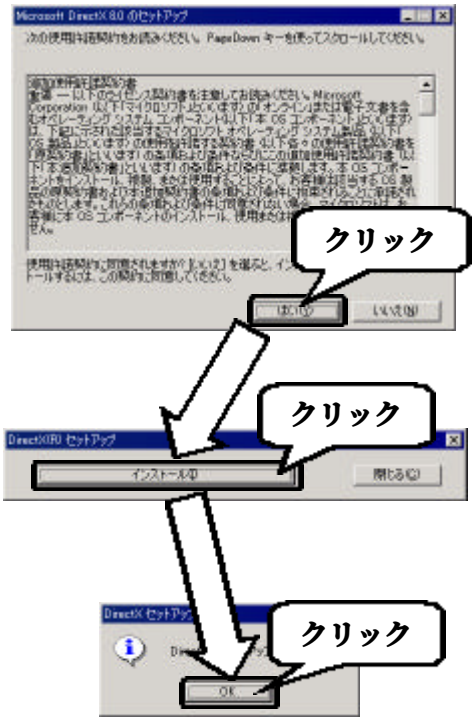


6　[完了] ボタンをクリックします。

次に、DirectX8.0のインストールを行います。引き続き次ページの画面が表示されますのでDirectX8.0のインストールされていない場合は必ずインストールしてください。
※ 本アプリケーションには、DirectX8.0以上の環境が必要です。

DirectX8.0をインストール

画面の指示にしたがって操作を進めます。



以上でインストールは終了です。

【3.I-O DATA VideoRecorder DS】（81ページ）を参照し、実際に使ってみましょう。

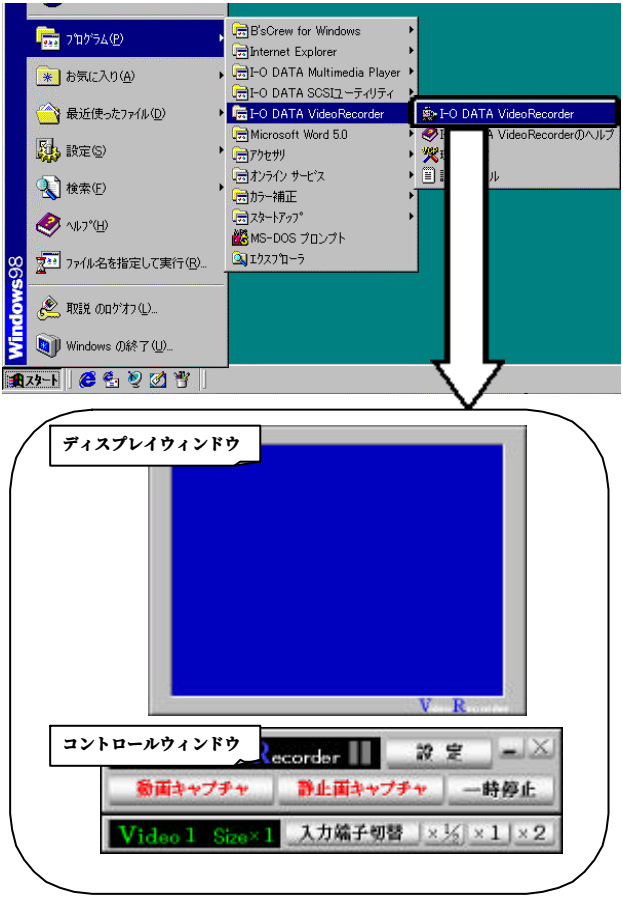
2. I-O DATA VideoRecorder

ここではI-O DATA Video Recrderの使い方について説明します。

起動方法	次ページ
映像を表示する **接続した映像機器の映像を表示させる**	64ページ
映像を保存する **映像を静止画として保存する（BMP）** **映像を動画として保存する（MPEG-1、AVI）**	66ページ
各ウィンドウの設定と詳細 **コントロールウィンドウ** **オプション設定**	76ページ
環境設定	79ページ
I-O DATA VideoRecoeder を削除するには	80ページ

起動方法

［スタート］→［プログラム］→［I-O DATA VideoRecorder］→［I-O DATA VideoRecorder］をクリックします。［ディスプレイウィンドウ］および［コントロールウィンドウ］が表示されます。



映像を表示する

接続した映像機器の映像を表示させる

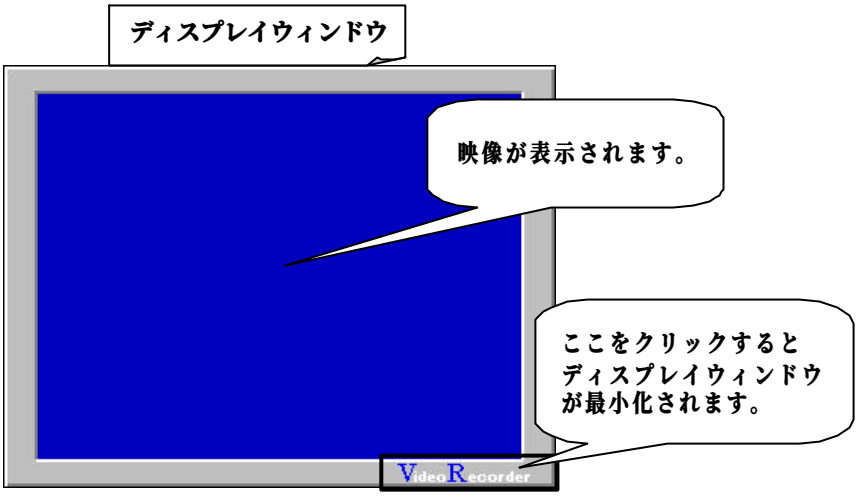
1 ビデオなどの映像機器の映像を表示する場合は、映像機器を再生状態にします。

映像機器を再生状態（映像機器の電源をONにし、ビデオテープなどをセットし、映像機器の再生ボタンを押す）にしてください。

2 接続した入力端子(Video1,Video2,S-Video) に切り替えます。

「コントロールウィンドウ」の[入力端子切り替え]ボタンをクリックして切り替えます。

3 ディスプレイウィンドウに映像機器の映像が表示されます。



ディスプレイウィンドウに映像が表示されない → 映像機器の電源がONになっていますか？

ビデオテープの映像においては、画面の下部にちらつきが表示される場合がありますが異常ではありません。

映像を保存する

映像を静止画として保存する（BMP）

表示された映像の１シーンをキャプチャし（取り込み）、その静止画をビットマップ（BMP）ファイルとして保存することができます。（BMP形式のみで保存できます。）

1 ディスプレイウィンドウにお好みの映像を表示させ、取り込むシーンで[静止画キャプチャ] ボタンをクリックします。

あらかじめ[一時停止]ボタンをクリックして、キャプチャする静止画を決めておくと便利です。（再度クリックすると解除されます。）

2 以下の画面が表示されます。

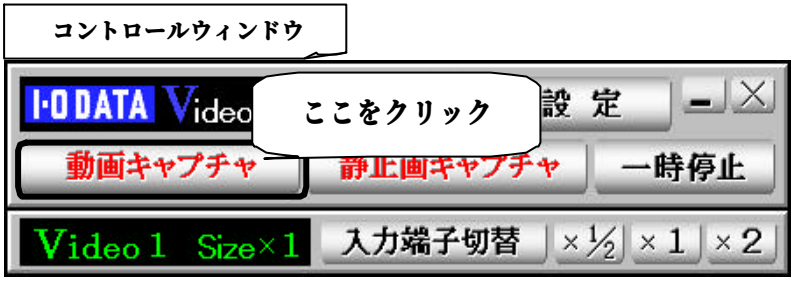
保存する場所、ファイル名を確認または変更後、[保存]ボタンをクリックすれば、そのシーンをビットマップファイルとして保存することができます。

▼画面例ではPhotosフォルダにcapture.bmpとして保存されます。

映像を動画として保存する（MPEG-1、AVI）

表示された映像を動画としてキャプチャし（取り込み）、その動画をMPEG-1ファイルまたはAVIファイルとして保存することができます。
キャプチャされた映像はWindowsで作成した文書や、ホームページなどに貼り込んだり、別売りの編集ソフトを使って自由に編集することができます。

1 ディスプレイウィンドウにお好みの映像を表示させ、[動画キャプチャ] ボタンをクリックします。

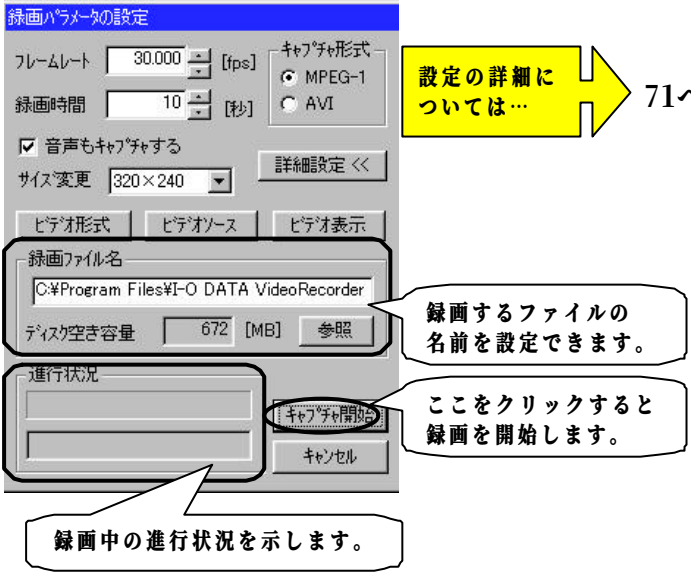


2 動画キャプチャを開始します。

保存する場所、ファイル名を確認・変更などをした後、取り込みたいシーンで、[キャプチャ開始]ボタンをクリックします。

[録画パラメータの設定]画面の詳細については71ページをご覧ください。

※キャプチャを途中で停止したい場合は、「ESC」キーを押すか、マウスを右クリックします。



- 書き込み準備のため、キャプチャ(取り込み)開始までに若干時間を要する場合があります。
- 動画ファイルを作成する場合、「録画時間」などにより動画ファイルのサイズが非常に大きくなる場合があります。ディスクの空き容量が十分にあることを確認し、作成を行ってください。作成中にディスクの空き容量が無くなった場合、ファイルが正常に作成されない場合があります。次ページを参考にしてください。
- Windowsの制約上MPEG/AVIファイルは2Gバイト以上のものは作成できません。また、書き込みに失敗したファイルは正常に再生することができません。
- 640x480でオーバーレイ表示中にビデオキャプチャするときは、映像がプレビューに切り替わります。

《参考》動画ファイルサイズについて

・AVIファイルの場合（音声を取り込まない場合）

非圧縮時の動画ファイルのサイズは、基本的に

画像の縦の長さ（ビット）×画像の横の長さ（ビット）×
色数（ビット）×フレームレート×秒数

となります。（コマ落ちなどでサイズは変動します。）

例）縦×横＝320 × 240、色数＝16ビット、
フレームレート＝30、秒数＝10秒の場合、

320×240×16×30×10＝約350Mビット=約44Mバイト

・MPEGファイルの場合

(「ビデオビットレート」＋「オーディオビットレート」)×秒数

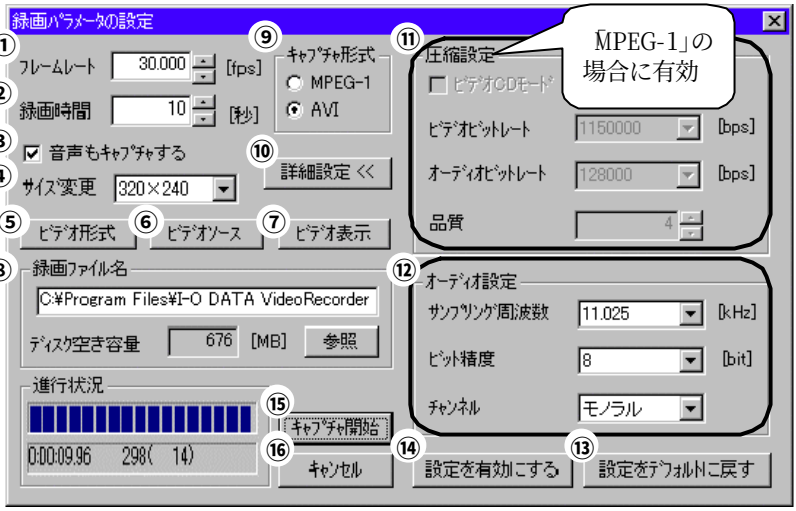
となります。

例）ビデオビットレート=1150000ビット、
オーディオビットレート＝96000ビット、秒数＝10秒の場合、

（1150000（ビット）＋96000（ビット））× 10（秒）
＝約12Mビット＝約1.5Mバイト

上記のサイズは、あくまで目安として考えてください。
（ビデオCDモードの場合は、約172Kバイト/秒となります。）

[録画パラメータの設定]画面



①フレームレート	キャプチャするときのフレームレート（画面を表示する速度）を指定します。AVIの場合、1～30まで指定できます。MPEG-1の場合、15または30で指定できます。
②録画時間	キャプチャをする時間を秒単位で指定します。上限は10800秒（3時間）です。
③音声もキャプチャする	音声も取り込む場合にチェックを付けます。ただし、音声も取り込むにはサウンドカードが必要です。
④サイズ変更	キャプチャするときの画像サイズを設定します。MPEG-1でキャプチャする場合は、640x480は指定できません。ビデオCDモードが設定されている場合は、この設定は無効になり、352x240のサイズになります。
⑤ビデオ形式	映像入力のフォーマットを変更します。（74ページ参照）

⑥ビデオソース	映像入力のカラー調整を行います。（75ページ参照）
⑦ビデオ表示	本製品では使用しません。
⑧録画ファイル名	キャプチャする映像のファイル名・保存場所を指定します。[参照]ボタンをクリックすると、ファイルを保存するフォルダが選択できます。
⑨キャプチャ形式	**［MPEG-1］を選択した場合** MPEG-1でキャプチャします。 ディスプレイウィンドウの切り替えは、数秒かかります。 **［AVI］を選択した場合** AVIでキャプチャします。 ディスプレイウィンドウへの切り替えは、数秒かかります。
⑩詳細設定≪	このボタンをクリックするとキャプチャ画面右側の「圧縮設定」、「オーディオ設定」の画面が表示され、詳細設定を行うことができます。
⑪圧縮設定 **（⑨キャプチャ形式で「MPEG-1」を選択したときのみ有効になります。）**	**［ビデオCDモード］** チェックを付けるとビデオCDサイズでキャプチャします。ビデオCDを作成する場合は必ずチェックを付けてください。 **［ビデオビットレート］** ビデオのビットレート（1ビットが転送される速度）を設定します。 **［オーディオビットレート］** オーディオのビットレート（1ビットが転送される速度）を設定します。 **［品質］** 動画の品質を調整します。設定できる値の範囲は、1～8です。数字が大きいほど高画質となりますが、コマ落ちフレームが大きくなる可能性があります。また、音声と映像に同期異常が生じる事があります。

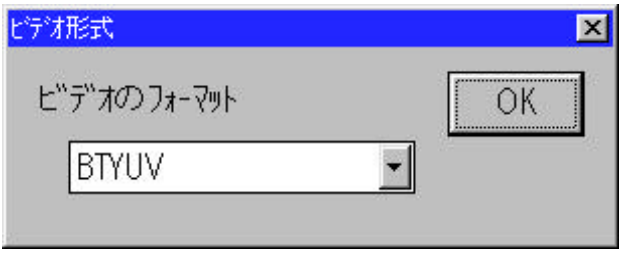
⑫オーディオ設定 **（③[音声もキャプチャする]にチェックを付けたときのみ有効になります。）**	**［サンプリング周波数］** 数字が大きいほど高品質になります。 **［ビット精度］** 数字が大きいほど高品質になります。 **［チャンネル］** 設定できる項目は、モノラル、ステレオです。
⑬設定をデフォルトに戻す	⑪［圧縮設定］、⑫［オーディオ設定］の内容を初期設定に戻します。
⑭設定を有効にする	現在の⑪［圧縮設定］、⑫［オーディオ設定］の内容を保存します。 各設定を変更した場合は、必ずクリックしてください。
⑮キャプチャ開始	クリックすると、録画を開始します。 このボタンの右側に進行状況が表示されます。 ⑪［圧縮設定］、⑫［オーディオ設定］を変更した場合は、⑬［設定をデフォルトに戻す］か⑭［設定を有効にする］をクリックしてください。 ※キャプチャを途中で停止したい場合は、「ESC」キーを押すか、マウスを右クリックします。
⑯キャンセル	［録画パラメータの設定］画面から抜けます。

Windows 95のバージョンが4.00.950/4.00.950aの環境、およびWindows NT 4.0の環境で、MPEG-1でキャプチャされたファイルを再生できない場合、MPEG-1ファイルを再生するソフトがインストールされていない可能性があります。
MPEG-1ファイルを再生できない場合は、添付の「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」の［ドライバーをインストールする］→［Media Player6.4］をインストールしてください。

［ビデオ形式］画面

［録画パラメータ設定］画面（71ページ）→⑤［ビデオ形式］ボタンをクリックすると表示されます。ここでは、映像入力のフォーマットを変更することができます。

▼Windows Me/98/95の場合



▼Windows NT 4.0の場合

フォーマット

32bitRGBA	32bitフルカラーRGB
24bitRGB	24bitフルカラーRGB
15bitRGB	15bitフルカラーRGB
BTYUV※	YUV形式(データ量は24bitRGBの約半分)

※ BTYUVフォーマットでキャプチャしたAVIファイルは、キャプチャしたパソコン以外では再生することはできません。

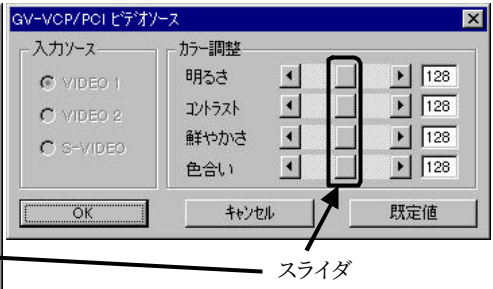
［フォーマット］は変更後、直ちに有効になります。その後、[OK]ボタンをクリックすると変更が確定され、[キャンセル]ボタンをクリックすると元の設定に戻ります。

［ビデオソース］画面

［録画パラメータ設定］画面（71ページ）→⑥［ビデオソース］ボタンをクリックすると表示されます。ここでは、映像入力の明るさ、コントラスト、鮮やかさ、色合いを変更することができます。

▼Windows Me/98/95の場合

▼Windows NT 4.0の場合



各項目のスライダをドラッグして移動させるか、または両端の矢印ボタンをクリックして各値を変更してください。

［ビデオソース］は変更後、直ちに有効になります。その後、[OK]ボタンをクリックすると変更が確定され、[キャンセル]ボタンをクリックすると元の設定に戻ります。

各ウィンドウの設定と詳細

コントロールウィンドウとオプション設定について説明します。

コントロールウィンドウ

コントロールウィンドウの各ボタンについて説明します。

静止画キャプチャボタン
静止画キャプチャを行います。
詳細は66ページをご覧ください。

最小化ボタン
コントロールウィンドウ
を最小化します。

終了ボタン
VideoRecorder
を終了します。

I-O DATAロゴ
クリックするとVideoRecorder
のバージョン情報を表示します。

設定ボタン
オプションパラメータなどの設定
を行うウィンドウを開きます。
詳細は次ページをご覧ください。

動画キャプチャボタン
動画キャプチャを行いま
す。詳細は68ページをご
覧ください。

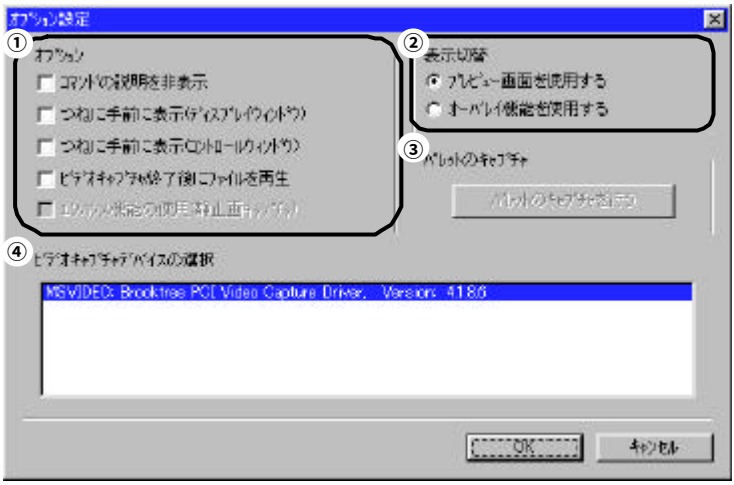
入力端子切替ボタン
クリックするごとに映像入力
ポートをVideo1→Video2→
S-Videoの順に切替えます。

x1/2,x1,x2ボタン
ディスプレイウィンドウの
サイズを変更します。
x1/2：160 ×120
x1　：320×240
x2　：640×480

一時停止ボタン
ディスプレイウィンドウに
表示されている映像を一時
停止します。
もう一度クリックすると解
除します。

オプション設定

コントロールウィンドウの［設定］ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。［オプション設定］では各種詳細設定を行うことができます。



①オプション	**［コマンドの説明を非表示］** カーソルをボタンに合わせたときの機能の説明を表示しません。 **［つねに手前に表示（ディスプレイウィンドウ）］** ディスプレイウィンドウをつねに手前に表示します。 **［つねに手前に表示（コントロールウィンドウ）］** コントロールウィンドウをつねに手前に表示します。 **［ビデオキャプチャ後にファイルを再生］** キャプチャされたファイルの拡張子に関連付けされているアプリケーション（メディアプレーヤーなど）を再生させます。 **［エンハンス機能の使用（静止画キャプチャ）］** 本製品では使用しません。

②表示切替	入力映像の表示方法の切り替えを行います。 オーバレイのチェックはオーバレイが使用できない場合は選択できません。
③パレットのキャプチャ	本製品では使用しません。
④ビデオキャプチャデバイスの選択	インストール済みのドライバを選択します。 初期設定では最上段に表示されているドライバが選択されます。 ※ 本製品では［MSVIDEO: Brooktree PCI Video Capture Driver］を選択します。

環境設定

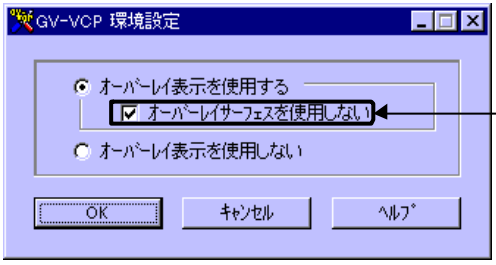
オーバーレイ表示の設定

オーバーレイ表示を使用すれば、使用しない場合に比べてよりスムーズな映像の表示が可能となります。オーバレイ表示するためには以下の手順で設定してください。

1 **［スタート］→［プログラム］→［I-O DATA VideoRecorder］→［環境設定］をクリックします。**

2 **オーバーレイ使用/ 未使用の設定を行います。**

DirectDraw対応環境の場合は[オーバーレイ表示を使用する]を、
未対応の環境の場合は[オーバーレイ表示を使用しない]を選びます。



ディスプレイウィンドウ内の映像が乱れる場合は、チェックを付けてお試しください。

- **オーバーレイ表示した場合、弊社製GA/GEシリーズ以外のグラフィックアクセラレータボードでは、正常に表示できない場合があります。**
- **640x480のサイズでオーバーレイ表示中はキャプチャを行うことはできません。**

I-O DATA VideoRecorderを削除するには

ここでは、【I-O DATA VideoRecorderをインストール】（55ページ）でインストールした「I-O DATA VideoRecorder」を削除する（アンインストール）方法を説明します。アプリケーションを使わなくなった場合は、以下を実行しインストール情報を削除してください。

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

2 **［I-O DATA VideoRecorder］をクリック後、[追加と削除] ボタンをクリックします。**

後は、画面の指示に従って操作してください。
以上で、アプリケーションのアンインストールは終了です。

3．I-O DATA VideoRecorder DS

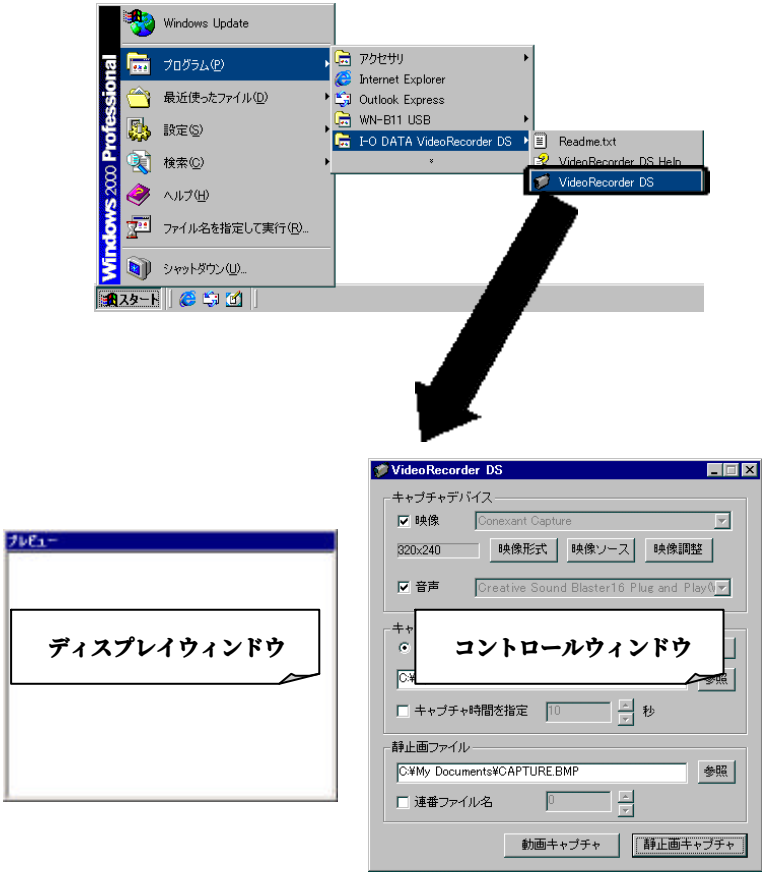
ここではI-O DATA Video Recrder DSの使い方について説明します。

起動方法	次ページ
映像を表示する	83ページ
接続した映像機器の映像を表示させる	
各ウィンドウの設定と詳細	85ページ
コントロールウィンドウ	
オプション設定	
映像を保存する	89ページ
映像を静止画として保存する（BMP）	
映像を動画として保存する（AVI、MPEG-1）	
キャプチャファイルの設定について	98ページ
I-O DATA VideoRecoeder DS を削除するには	102ページ

起動方法

［スタート］→［プログラム］→［I-O DATA VideoRecorder DS］→［VideoRecorder DS］をクリックします。［ディスプレイウィンドウ］および［コントロールウィンドウ］が表示されます。

※ 各ウィンドウの詳細については、85ページ以降をご参照ください。



映像を表示する

接続した映像機器の映像を表示させる

1 ビデオなどの映像機器の映像を表示する場合は、映像機器を再生状態にします。

映像機器を再生状態（映像機器の電源をONにし、ビデオテープなどをセットし、映像機器の再生ボタンを押す）にしてください。

2 接続した入力端子(Video1,Video2,S-Video)に切り替えます。

[コントロールウィンドウ]の[キャプチャデバイス]の[映像ソース]ボタン→[Input]で切り替えます。

下記に合わせて入力ソースを設定します。

S-Video	0:Video SVideo In
Video1	1:Video Composite In
Video2	2:Video Composite In

3　ディスプレイウィンドウに映像機器の映像が表示されます。

ディスプレイウィンドウに映像が表示されない → **映像機器の電源がON になっていますか？**

ビデオテープの映像においては、画面の下部にちらつきが表示される場合がありますが異常ではありません。

各ウィンドウの設定と詳細

コントロールウィンドウとオプション設定について説明します。

コントロールウィンドウ

コントロールウィンドウの各項目について説明します。

①映像	チェックされている場合、映像キャプチャ時に映像のキャプチャを行います。
②映像キャプチャデバイス	キャプチャ時に使用したいキャプチャデバイスを選択します。
③映像形式ボタン	映像キャプチャデバイスのキャプチャ設定を行うダイアログを開きます。（94ページ参照）

④映像ソースボタン	映像キャプチャデバイス上のどの入力端子を使用するかを選択するダイアログが開きます。（95ページ参照）
⑤映像調整ボタン	キャプチャ映像の画質を調節するダイアログが開きます。（96ページ参照）
⑥音声	チェックされている場合、映像キャプチャ時に音声のキャプチャを行います。
⑦音声キャプチャデバイス	音声キャプチャデバイスを選択します。
⑧AVI	チェックされている場合、AVIファイルのキャプチャを行います。
⑨MPEG-1	チェックされている場合、MPEG-1ファイルのキャプチャを行います。
⑩設定ボタン	キャプチャファイルに関する詳細設定を行う為のダイアログが開きます。 [AVI]選択時は[AVIキャプチャ設定]（98ページ参照）を、[MPEG-1]選択時は「MPEGキャプチャ設定」ダイアログ（100ページ）を開きます。
⑪動画キャプチャファイル名	キャプチャ先のファイルパス名を指定するためのエディットボックスです。 初期設定では、「\My Documents\CAPTURE.AVI」、もしくは「\My Documents\CAPTURE.MPG」です。
⑫参照ボタン	動画キャプチャファイルのパス名、ファイル名を指定します。

⑬キャプチャ時間を指定	チェックされている場合、最大キャプチャ時間の制限を行います。10800秒（3時間）まで設定できます。 ※ AVIファイルは4Gバイト以上のものは作成できません。
⑭静止画キャプチャファイル名	キャプチャ先のファイルパス名を指定する為のエディットボックスです。 初期設定では、「\My Documents\CAPTURE.BMP」です。
⑮参照ボタン	静止画キャプチャファイルのパス名、ファイル名を指定します。
⑯連番ファイル名	チェックされている場合、指定されたファイル名に連番を付けます。作成されるファイル名は以下のようになります。 ベースファイル名+5桁のカウンタ 拡張子はBMP固定です。5桁のカウンタの番号は、キャプチャするたびに自動的に加算されていきます。 例）ベースファイル名をCAPTURE.BMPとした場合、以下の様に作成されます。 CAPTURE_00000.BMP CAPTURE_00001.BMP CAPTURE_00002.BMP CAPTURE_00003.BMP ・・・・・・・・
⑰動画キャプチャ	[動画キャプチャ]ダイアログを開き、動画のキャプチャを開始します。 キャプチャ中、キャプチャ先ファイルが4ギガバイトに達した場合、もしくはハードディスクの容量が無くなった場合、それ以降のキャプチャは行われません。
⑱静止画キャプチャ	クリックすると、その時点の静止画をBMPファイルとしてキャプチャします。

ディスプレイウィンドウ

映像が表示（プレビュー）されます。右クリックするとメニューが表示されます。

720 ×480 **640 ×480** **320 ×240** **160 ×120**	ディスプレイウィンドウの表示サイズを選択します。 初期設定は320×240です。
オーバーレイを使用する	チェックがついている場合、プレビューにオーバーレイ機能を使用します。
プレビューを行う	チェックが付いている場合、ディスプレイウィンドウにプレビュー映像を表示します。

＜ご注意＞
- **オーバーレイ表示は、お使いのグラフィックアクセラレータボードによっては正常に表示できない場合があります。**
- **320×240ドットを超えるサイズで、パソコン上に映像を表示しながらのキャプチャは行えません。**

映像を保存する

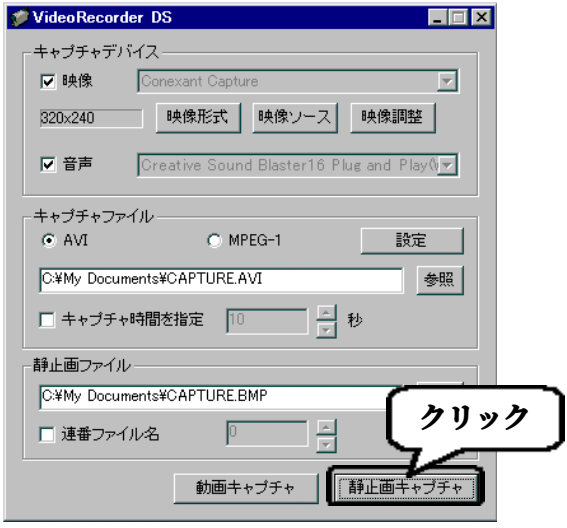
映像を静止画として保存する（BMP）

表示された映像の１シーンをキャプチャし（取り込み）、その静止画をビットマップ（BMP）ファイルとして保存することができます。（BMP形式のみで保存できます。）

ディスプレイウィンドウにお好みの映像を表示させ、取り込むシーンで[静止画キャプチャ] ボタンをクリックします。

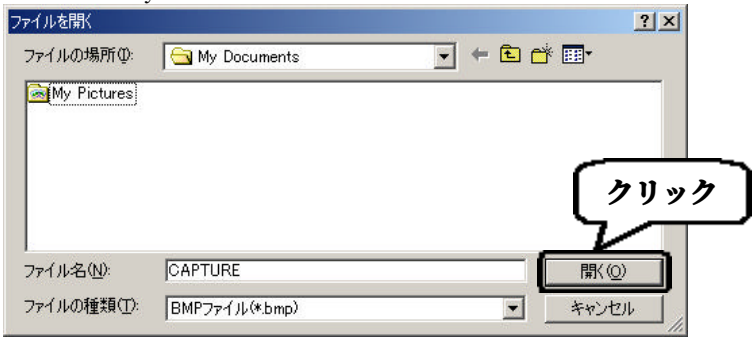
以上でキャプチャ完了です。

[参照]ボタンをクリックすると、フォルダや、ファイル名を指定することができます。（次ページ参照）



フォルダやファイル名を指定したい場合は、[参照] ボタンをクリック後、フォルダや、ファイル名を指定し、[開く] ボタンをクリックします。

▼画面例ではMy Documentsフォルダに CAPTURE.BMPとして保存されます。



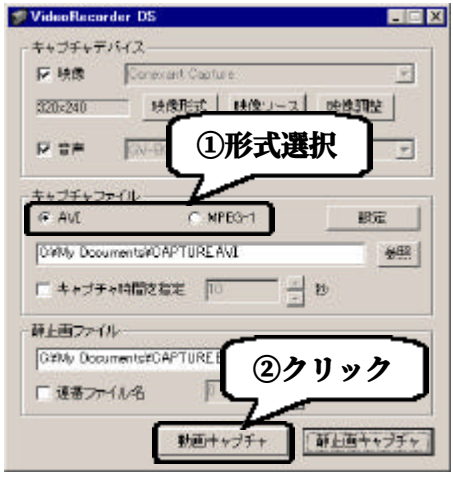
映像を動画として保存する（AVI、MPEG-1）

表示された映像を動画としてキャプチャし（取り込み）、その動画をAVIファイル、またはMPEG-1ファイルとして保存することができます。
キャプチャされた映像はWindowsで作成した文書や、ホームページなどに貼り込んだり、別売りの編集ソフトを使って自由に編集することができます。

1 ディスプレイウィンドウにお好みの映像を表示させ、[AVI]、[MPEG-1]のお好みの形式を選択後、[動画キャプチャ]ボタンをクリックします。

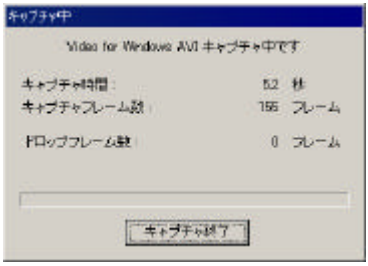
動画キャプチャが開始します。

▼画面例ではAVIファイルとして保存されます。



2 動画キャプチャを中止したい場合は、[キャプチャ終了] ボタンをクリックします。

保存する場所、ファイル名を確認・変更などの詳細については、85ページをご覧ください。



＜注意＞

- **書き込み準備のため、キャプチャ(取り込み) 開始までに若干時間を要する場合があります。**
- **動画ファイルを作成する場合、「録画時間」などにより動画ファイルのサイズが非常に大きくなる場合があります。ディスクの空き容量が十分にあることを確認し、作成を行ってください。作成中にディスクの空き容量が無くなった場合、ファイルが正常に作成されない場合があります。次ページを参考にしてください。**
- **Windowsの制約上MPEGファイルは4Gバイト以上のものは作成できません。同様にAVIファイルも4Gバイト以上のものは作成できません。また、書き込みに失敗したファイルは正常に再生することができません。**
- **320×240ドットを超えるサイズで、パソコン上に映像を表示しながらのキャプチャは行えません。**
  映像機器側で表示される画面をご確認いただきながらご利用ください。

《参考》動画ファイルサイズについて

・AVIファイルの場合（音声を取り込まない場合）

非圧縮時の動画ファイルのサイズは、基本的に

画像の縦の長さ（ビット）×画像の横の長さ（ビット）×
色数（ビット）×フレームレート×秒数

となります。（コマ落ちなどでサイズは変動します。）

例） 縦×横＝320 × 240、色数＝16ビット、
フレームレート＝30、秒数＝10秒の場合、

320×240×16×30×10＝約350Mビット=約44Mバイト

圧縮プログラムを使用した場合のサイズ（AVIファイル等のサイズ）は、そのプログラムや圧縮するデータ及び環境により、上記サイズの数分の1になったりしますが、正確なサイズを得ることはできません。上記のサイズは、あくまで目安として考えてください。

・MPEGファイルの場合

(「ビデオビットレート」＋「オーディオビットレート」)×秒数

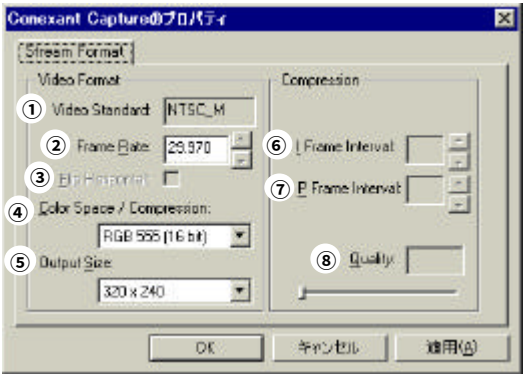
となります。

例） ビデオビットレート＝1150000ビット、
オーディオビットレート＝96000ビット、秒数＝１0秒の場合、

（1150000（ビット） ＋ 96000（ビット）） × 10（秒）
＝約12Mビット＝約1.5Mバイト

上記のサイズは、あくまで目安として考えてください。
（ビデオCDモードの場合は、約172Kバイト/秒となります。）

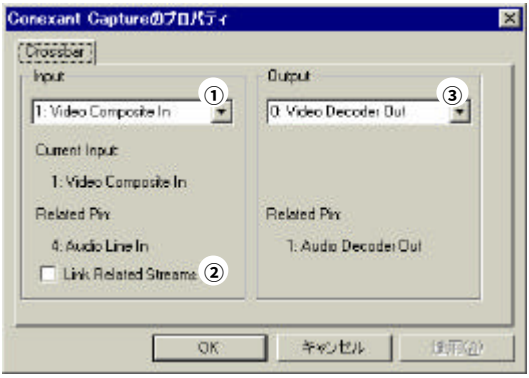
映像形式ボタン



①Video Standard （ビデオ信号形式）	入力されているビデオ信号の形式を表示します。
②Frame Rate （フレームレート）	本製品では使用しません。
③Flip Horizontal	
④Color Space/ Compression （色空間形式）	色空間形式を指定します。 ※ ご使用の環境によっては、キャプチャできない形式もあります。
⑤Output Size （出力サイズ）	実際にキャプチャする際の、サイズを指定します。
⑥I Frame Interval	本製品では使用しません。
⑦P Frame Interval	
⑧Quality	

＜ご注意＞
[映像形式] ボタン内の設定内容は、「I-O DATA VideoRecorder DS」の再起動によって初期状態に戻ります。

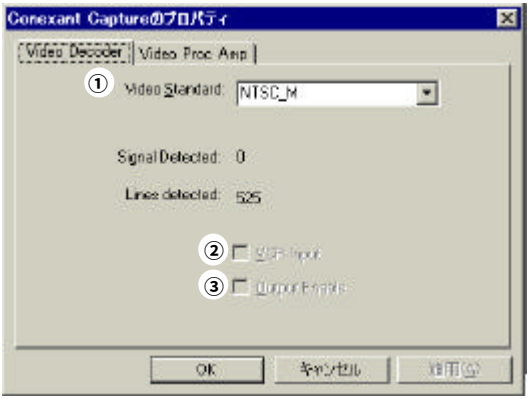
映像ソースボタン



①Input	入力しているビデオ信号を選択します。
②Link Related Streams	本製品では使用しません。
③OUTPUT	

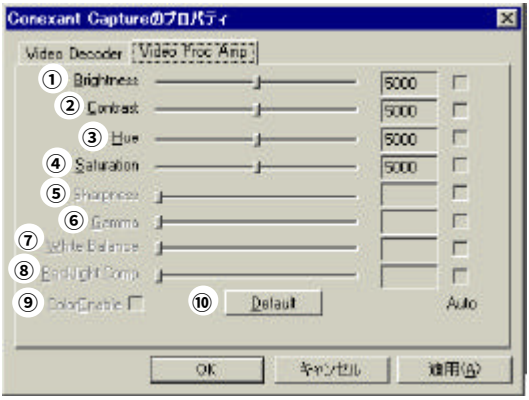
映像調整ボタン

・Video Decorderタブ



①Video Standard（ビデオ信号形式）	入力されているビデオ信号の形式を選択します。[NTSC__M]もしくは[NTSC_M_J]を選択してください。
②VCR Input	本製品では使用しません。
③Output Enable	

・Video Proc Ampタブ

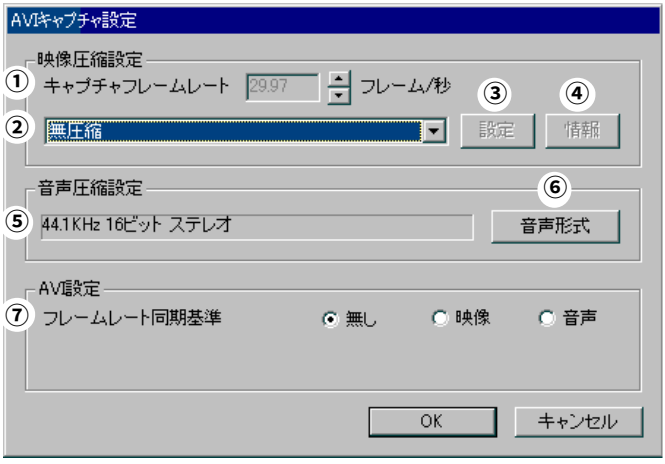


①Brightness	明るさを調整します。
②Contrast	コントラストを調整します。
③Hue	色相を調整します。
④Saturation	彩度を調整します。
⑤Shapness	本製品では使用しません。
⑥Gamma	
⑦White Balance	
⑧Backlight Comp	
⑨Color Enable	
⑩Default	初期設定に戻します。

キャプチャファイルの設定について

[設定]ボタンをクリックすると、キャプチャに関する詳細な設定ができます。
ただし、設定内容は、キャプチャ形式（[AVI]か[MPEG-1]）により異なります。

[AVI]選択時
「AVIキャプチャ設定」画面が表示されます。

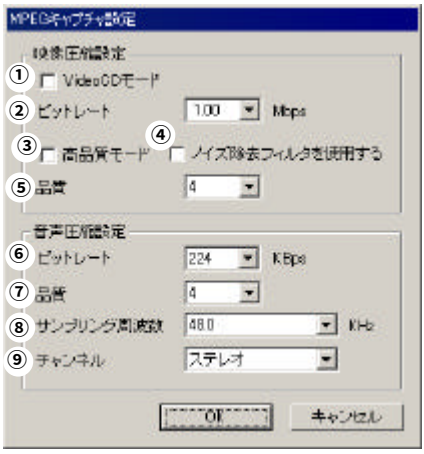


①キャプチャフレームレート	使用しません。
②圧縮コーデック※	データ圧縮用のコーデックを選択します。
③設定	選択されている圧縮コーデックの設定を行います。
④情報	選択されている圧縮コーデックの情報を表示します。
⑤音声圧縮設定	現在選択されている音声の形式を表示します。
⑥音声形式	音声キャプチャ時に使用される音声形式を選択する為のWindows標準ダイアログを開きます。
⑦フレームレート同期基準	映像ストリームのフレームレートを決定する際の基準を設定します。 キャプチャ時に映像と音声がずれる場合、[映像]もしくは[音声]を指定します。 **無し**・・・特に基準を定めません。 **映像**・・・映像を基準としてフレームレートを決定します。 **音声**・・・音声を基準としてフレームレートを決定します。音声キャプチャを行わない場合は無効化します。

※ ②[圧縮コーデック]で選択できるコーデックの種類は、ご使用の環境により異なります。
また、各圧縮コーデックご利用時のお問い合わせは、コーデック提供元へお願い致します。④[情報]ボタンをクリックすると、コーデック提供元に関する情報が表示されます。

[MPEG-1]選択時

「MPEGキャプチャ設定」画面が表示されます。



①VideoCD モード	チェックが付いた状態でキャプチャを行うと、映像をビデオCD規格に準拠した設定で圧縮し、キャプチャします。ビデオCD用のMPEGファイルを作る際にチェックします。
②ビットレート	映像圧縮時のビットレートを設定します。[VideoCDモード]にチェックが付いている場合は、無効化されます。
③高品質モード	チェックが付いている場合、MPEG-1エンコーダの高品質モードを使用するため、エンコード後の画質が向上します。ただし、処理が増加するためフレーム落ちの可能性が高くなります。

＜ご注意＞
- **[VideoCDモード]をチェックした場合、[映像形式]（94ページ）で設定しているサイズは無視されます。**
- **[VideoCDモード]をチェック後、[映像形式]（94ページ）でサイズを320×240以外に変更すると、VideoCDモードでキャプチャされません。**

④ノイズ除去フィルタを使用する	チェックが付いている場合、MPEG-1エンコード処理の前の映像に、ローパスフィルタをかけて、エンコードの際の映像のノイズを軽減します。ただし、処理が増加するため、フレーム落ちの可能性が高くなります。
⑤品質	動画の品質を調整します。設定できる範囲は0～7です。数値が大きいほど高画質となりますが、フレーム落ちの可能性が高くなります。[VideoCDモード]にチェックがついている場合は、無効化されます。
⑥ビットレート	音声圧縮時のビットレートを設定します。[VideoCDモード]にチェックがついている場合は、無効化されます。
⑦品質	音声圧縮時の音声品質を決定するパラメータを設定します。設定できる範囲は0～7です。
⑧サンプリング周波数	音声圧縮時のサンプリング周波数を設定します。[VideoCDモード]にチェックがついている場合は、無効化されます。
⑨チャンネル	音声圧縮時の音声チャンネル数を設定します。[VideoCDモード]にチェックがついている場合は、無効化されます。

I-O DATA VideoRecorder DSを削除するには

ここでは、【I-O DATA VideoRecorder DSをインストール】（59ページ）でインストールした「I-O DATA VideoRecorder DS」を削除する（アンインストール）方法を説明します。アプリケーションを使わなくなった場合は、以下を実行しインストール情報を削除してください。

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

2 **［I-O DATA VideoRecorder DS］をクリック後、[変更/ 削除] ボタンをクリックします。**

後は、画面の指示に従って操作してください。
以上で、アプリケーションのアンインストールは終了です。

4．MPEG-2キャプチャについて

添付の「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」を使うと、MPEG-2形式の動画ファイルが作成できます。また、MPEG-2形式の動画ファイルは、DVDビデオ作成用のデータとしてもご使用いただけます。
「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」には、他にもたくさんの便利な機能や、たのしい機能があります。
本ソフトェアをご使用になる場合は、添付の「ユーリードVideoStudio（ビデオスタジオ）MPEG関連補足説明」を下記の方法でご覧ください。

1 **メイン画面で[CDの内容を参照する] をクリックします。**
※ Acrobat Reader 4.0以上がインストールされていない場合は、あらかじめメイン画面[ドライバをインストール]より[Acrobat Reader 4.0]をインストールしてください。

2 **[Documents]フォルダをダブルクリックします。**

3 **[Manual]フォルダをダブルクリックします。**

4 **[Japanese]フォルダをダブルクリックします。**

5 **[VStudio]アイコンをダブルクリックします。**
「VideoStudioユーザーガイド」が表示されますので、ご参照ください。

・弊社では、「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」に関するお問い合わせはお受けできません。
添付の「Ulead Systemsお客様保管用カード」をご覧になり、ユーリードシステムズ社にお問い合わせください。
・DVDビデオの作成には別途DVD書き込み用のハードウェア、およびソフトウェアが必要です。
・HELPファイル、PDFマニュアル、および別添の「Ulead VideoStudio 4ユーザーズガイド」には、DVに関する表記がありますが、本製品に添付の「日本語版 Ulead VideoStudio 4 MPEG2(S) SE」ではDVAVIファイルへの変換、編集以外（キャプチャおよび書き戻し等のDVカメラコントロール）のDVカメラのサポートはしておりません。
・Windows Me/98/95/NT 4.0で、640×480ドットでキャプチャする際は、[環境設定]で[オーバーレイ表示を使用しない]にチェックを入れてください。
・Windows 2000では、320×240ドットを超えるサイズではキャプチャすることはできません。

MEMO

ふろく

必要に応じてお読みください。

困った時には 106ページ

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

参考 リソースの変更方法 122ページ

仕様 128ページ

本製品の仕様です。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

セットアップ時のトラブル

状態	参照ページ
・ドライバインストール直後のWindows Me/98/95再起動時に例外エラーが発生する ・アプリケーション起動時に例外エラーが発生する ・アプリケーション起動後Windows Me/98/95が停止する	１０８
ドライバインストール中に「割り込みもしくはアドレスが競合しています」や、「ボードが見つかりません」といったメッセージが表示される	１０９
インストールできない （Windows Me/98/95が本製品を検出した以下の画面が表示されない） Windows Me/98：**『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面** Windows 95 バージョン4.00.950または4.00.950a：**『新しいハードウェア』画面** Windows 95 バージョン4.00.950 Bまたは4.00.950 C：**『デバイスドライバウィザード』画面** Windows 2000：**『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面**	１１０

I-O DATA VideoRecorder（DS）使用時のトラブル

状態【映像などの表示・音声出力に関するトラブル】	参照ページ
ディスプレイウィンドウは表示されるが、映像が表示されない（画面全体が青色表示の状態）	１１２
ディスプレイウィンドウが表示されない	１１３
ディスプレイウィンドウが緑色になってしまう	１１３
画面の動きがコマ送りになってしまう	１１４
テレビや映像機器の音声が出ない	１１４
市販のビデオや、DVD等を再生すると、画面に横線がでる	１１５
モノクロカメラ映像を入力すると画面にノイズが出る	１１５
バルーンヘルプ（マウスカーソルを重ねた時に表示されるヘルプ）の文字などが正しく表示されない（Windows Me/98/95/NT 4.0のみ）	１１６
オーバーレイ表示を使用した場合に、画面上にゴミが残るなどの現象が発生する（Windows Me/98/95/NT 4.0のみ）	１１６

状態【キャプチャに関するトラブル】	参照ページ
キャプチャできない 動画キャプチャ時に「キャプチャする事ができません」など表示される	１１７
キャプチャしたファイルがコマ落ちしてしまう	１１７
キャプチャした音声が出ない	１１８
長時間キャプチャしたAVIファイルの映像と音声の同期がずれてしまう	１１８
保存した画像ファイルを他のアプリケーションで表示させたら、モノクロに近い画像になっている、または、色が荒い	１２０
AVIファイルのキャプチャは問題ないが、MPEGでキャプチャしようとすると、「キャプチャデバイスがオープンできません」、または「CODECドライバの初期化に失敗しました」と表示される	１２０

状態【その他のトラブル】	参照ページ
動作が安定しない	１２１

セットアップ時のトラブル

・ドライバインストール直後のWindows Me/98/95再起動時に例外エラーが発生する
・アプリケーション起動時に例外エラーが発生する
・アプリケーション起動後Windows Me/98/95が停止する

原因	リソースが他のデバイスと重なっている。（Windows上では、「競合なし」の旨のメッセージが出ていても念のため下記の作業をお試しください。）
対処1	本製品を実装するPCIスロットを変更してみてください。
対処2	以下の手順で設定を変更してみてください。 ① NEC PC98-NXシリーズをお使いの場合は、[スタート]→[プログラム]→[サイバートリオ]の設定を[アドバンスト]にします。 ② Windowsセーフモードで起動します。 （Windows Me/98の場合は、Windows起動時に「Ctrl」キーを押してSafeモードを選択。Windows 95の場合は、Windows起動時に「F8」キーを押してSafeモードを選択） ③ システムのプロパティを開きます。 （[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[システム]アイコンをダブルクリック） ④ [デバイスマネージャ]タブ→[サウンドビデオおよびゲームのコントローラ]の中の「GV-VCP Series WDM Capture (Bt878 Video Section）」）を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。 ⑤ [リソース]タブをクリックします。 ⑥ Windows 95の場合のみ、[自動設定]のチェックを外します。

⑦ メモリの範囲の設定を変更します。
例) 自動で割り当てられたアドレス：000CA000-000CAFFF
手動で移動させるアドレス：F00CA000-F00CAFFF
上記以外のアドレスに設定される可能性もありますが、基本的には、アドレス空間の上位で他のボードとぶつからないアドレスに変更してください。

⑧ 手動設定を行うためIRQも他のものと重ならないように調整してください。

⑨ [システムのプロパティ]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックします。

⑩ Windowsを再起動してください。

※ 一度で解消されない場合は、お手数でも手順①より値を再度変更してお試しください。

ドライバインストール中に「割り込みもしくはアドレスが競合しています」や、「ボードが見つかりません」といったメッセージが表示される

原因1 本製品が使用するリソース（IRQ）が他の機器と競合しています。

対処 競合を回避する必要があります。
回避方法はパソコンにより異なりますが、一般的には下記の方法となります。

・パソコン本体のBIOSでIRQが競合しないように設定する
BIOSで設定できる内容は個々のパソコンにより異なりますが、ほとんどのパソコンではPCIスロット毎に特定のIRQ番号を強制的に割り当てることができるようになっています。
この機能を利用して、本製品が取り付けられているPCIスロットに対し、空きになっている割り込み番号（IRQ番号）を割り当てるようにしてみてください。設定方法の詳細については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

・もし他に空きのPCIスロットがあるようであれば、本製品を空きのスロットに差しかえてみてください。
空きがない場合は、できるだけ他の機器を取り外して空きスロットをつくり、本製品のみを取り付けた状態で試してみてください。この状態で正常に動作するようであれば、やはりIRQの不足による機器どうしの競合が発生していたものと思われます。
このような場合は、普段あまりご使用にならない機器をパソコンに取り付けないようにするなどしてIRQに空きをつくるしかありません。

インストールできない

（Windows Me/98/95が本製品を検出した以下の画面が表示されない）

Windows Me/98：**[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面**
Windows 95 バージョン4.00.950または4.00.950a
：**[新しいハードウェア]画面**
Windows 95 バージョン4.00.950 Bまたは4.00.950 C
：**[デバイスドライバウィザード]画面**
Windows 2000 ：**『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面**

原因1	本製品が正しく取り付けられていない。
対処	パソコンの電源を切ります。 本製品が確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。（【2.パソコンとの接続】（13ページ参照））

原因 2	本製品が誤認識、または既に何らかのキャプチャデバイスが登録されている可能性があります。
対処	[デバイスマネージャ]→[その他のデバイス]（または[サウンドビデオおよびゲームのコントローラ]）をダブルクリックし、[PCI Multimedia Video Device] ※ が登録されていないかご確認ください。もし登録されているようであれば、[PCI Multimedia Video Device]※を選択（クリック）し、［削除］ボタンで削除した上で，Windowsを再起動してください。 ※ [PCI Multimedia Video Device]はWindowsが持っている汎用のキャプチャドライバですが、本製品には使用できません。

以上を行っても改善されず、サポートセンターへお問い合わせになる場合は、[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]下に表示される内容と[その他のデバイス]（[その他のデバイス]が無い場合もあります）下に表示される内容をお知らせください。

I-O DATA VideoRecorder（DS）使用時のトラブル

【映像などの表示・音声出力に関するトラブル】

ディスプレイウィンドウは表示されるが、映像が表示されない（画面全体が青色表示の状態）

原因 1	映像機器の電源が入っていない。
対処	映像機器の電源を確認します。ビデオなどの再生機器は、再生状態になっているかを確認してください。
原因 2	入力ビデオソースの設定が違う。
対処	接続されている映像機器の入力端子（VIDEO1,VIDEO2,S-VIDED）に合わせて入力ビデオソースを切り替える必要があります。
原因 3	本製品が正しく取り付けられていない。
対処	Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。 本製品が確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（【2.パソコンとの接続】（13ページ）参照）映像機器には映像出力端子のほかに映像入力端子もあります。同じピンプラグコネクタですので間違えていないか確認してください。（映像機器側は、映像出力端子に接続します。） また、ご用意いただいたケーブルが映像用ケーブル（ビデオコード）かどうか確認してください。
原因 4	本製品が使用している割り込み（IRQ）と他のボードの割り込みが、競合もしくは共有（シェアリング）されている可能性があります。
対処	現在使用している割り込みが他のデバイスと競合していないか確認し、【リソースの変更方法】（122ページ）を参照して、競合もしくは共有（シェアリング）しないように設定してください。

ディスプレイウィンドウが表示されない

原因　本製品が正しく取り付けられていない。

対処　パソコンの電源を切ります。本製品が確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。（【2. パソコンとの接続】（13ページ）参照）

ディスプレイウィンドウが緑色になってしまう

原因　本製品のメモリ範囲リソースが正常に割り当たっていない可能性があります。

対処　以下の手順でメモリ範囲の変更をしてください。

① [マイコンピュータ]を右クリックし[プロパティ]をクリックします。
② デバイスマネージャから[サウンドビデオおよびゲームのコントローラ]を選び、「GV-VCP Series WDM Capture (Bt878 Video Section)」）をダブルクリックします。
③ [リソース]タブより自動設定のチェックを外し、[メモリの範囲]をダブルクリックします。
④ 値の変更画面が表示されますので、値の横にある▼▲のどちらかを数回クリックして現在の値より変更致します。
※ 変更する値は任意で結構ですが、下の競合欄に競合デバイスが表示されないように設定します。
⑤ [OK]ボタンをクリックして、設定画面を終了します。
⑥ Windowsを再起動します。
※ 一度で解消されない場合は、お手数でも手順①より値を再度変更してお試しください。

対処　本製品を取り付けるPCIスロットを変更してお試しください。

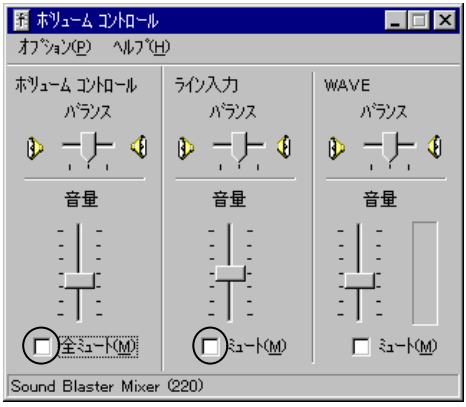
画面の動きがコマ送りになってしまう

原因	オーバレイモードになっていません。
対処	Windows Me/98/95/NT 4.0の場合は、【環境設定】を参照して、オーバーレイ表示の設定を行ってください。（79ページ） Windows 2000の場合は、ディスプレイウィンドを右クリックして設定してください。（88ページ参照）

テレビや映像機器の音声が出ない

原因 1	オーディオケーブルが正しく接続されていない。
対処	【2．パソコンとの接続】（13ページ）を参照して、音声の接続を確認してください。
原因 2	Windowsの[ライン入力]もしくは[ボリュームコントロール]設定がミュートまたは、ボリュームが小さくなっている。
対処	[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント（マルチメディア）]→[ボリュームコントロール]を起動してください。 [ボリュームコントロール]内の[ライン入力]もしくは[ボリュームコントロール]のミュートにチェックが付いていないか確認してください。チェックが付いていたら外してください。[ライン入力]もしくは

[ボリュームコントロール]が表示されていない場合は、［オプション］→［プロパティ］を表示し、[表示するコントロール]にチェックを付けて、表示してください。



上記の設定は、ご使用のサウンドボードによっては設定項目が異なる場合があります。詳細はサウンドボードの取扱説明書をご覧ください。

市販のビデオや、DVD等を再生すると、画面に横線がでる

原因	再生ソフトにコピー防止信号が含まれている。
対処	本製品は、不正コピー防止信号も、映像として表示する仕様になっております。ご了承ください。

モノクロカメラ映像を入力すると画面にノイズが出る

対処	75ページをご参照の上、［鮮やかさ］を「0」にしてください。

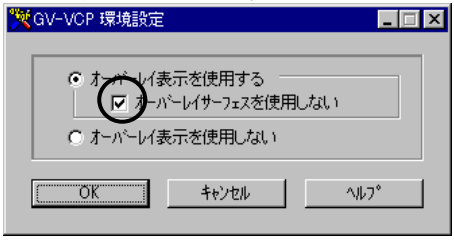
バルーンヘルプ（マウスカーソルを重ねた時に表示されるヘルプ）の文字などが正しく表示されない（Windows Me/98/95/NT 4.0のみ）

原因	DirectDraw対応環境でないのに、オーバーレイ表示にしている。
対処	[スタート]→[プログラム]→[I-O DATA VideoRecorder]→［環境設定］を起動し、[オーバーレイ表示を使用しない]に設定してください。

オーバーレイ表示を使用した場合に、画面上にゴミが残るなどの現象が発生する（Windows Me/98/95/NT 4.0のみ）

対処

[スタート]→[プログラム]→[I-O DATA VideoRecorder]→［環境設定］を起動し、[オーバーレイサーフェスを使用しない]にチェックを付けてください。



【キャプチャに関するトラブル】

キャプチャできない
動画キャプチャ時に「キャプチャする事ができません」など表示される

原因	本製品が使用している割り込み（IRQ）と他のボードの割り込みが、競合もしくは共有（シェアリング）)されている可能性があります。
対処	現在使用している割り込みが他のデバイスと競合していないか確認し、【リソースの変更方法】（122ページ）を参照して、競合もしくは共有（シェアリング）しないように設定してください。

キャプチャしたファイルがコマ落ちしてしまう

原因 1	ハードディスクの書き込み速度が不足している可能性があります。
対処	映像ウィンドウのサイズおよび色数を落としてキャプチャをお試しください。
原因 2	圧縮設定が高すぎる。
対処	MPEG形式の場合、ビットレート、品質設定を落としてください。

【参考】　コマ落ちフレームの確認方法

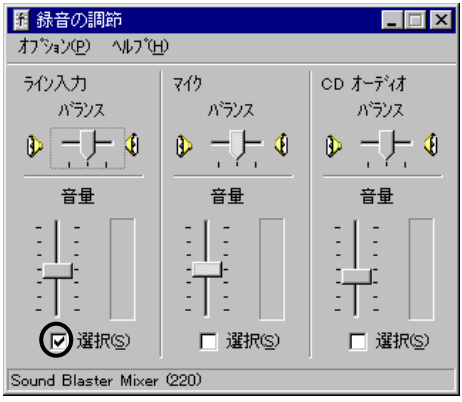
キャプチャした音声が出ない

原因 1	[音声もキャプチャする]にチェックが付いていない。
対処	Windows Me/98/95/NT 4.0の場合は、[音声もキャプチャする]をチェックしてください。（71ページ参照） Windows 2000の場合は、[音声]をチェックしてください。（85ページ参照）
原因 2	Windowsの[録音]設定が[ライン入力]になっていない、もしくはボリュームが小さい。
対処	[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント（マルチメディア）]→[ボリュームコントロール]を起動してください。 ［オプション］→［プロパティ］を表示し、[音量の調整]で［録音］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。

長時間キャプチャしたAVIファイルの映像と音声の同期がずれてしまう

原因	フレームレート同期基準の設定が適切でない。
対処	I-O DATA Video Recorder DSのAVIキャプチャ設定ダイアログでフレームレート同期基準の設定を[音声]にしてください。

[ボリュームコントロール]内の[ライン入力]の［選択］にチェックが付いているか確認してください。チェックがない場合は、付けてください。[ライン入力]が表示されていない場合は、［オプション］→［プロパティ］を表示し、[表示するコントロール]にチェックを付けて、表示してください。
（お使いのサウンドカードによっては、ライン入力以外の場合があります。（CD INなど）詳細はお使いのサウンドカードの取扱説明書をご覧ください。）



保存した画像ファイルを他のアプリケーションで表示させたら、モノクロに近い画像になっている、または、色が荒い

原因	そのアプリケーションがフルカラー対応でない。
対処	保存した画像ファイルがフルカラー形式のとき、フルカラー対応でないアプリケーションではきれいに表示されません。 ハイカラー（32,768色）ではかなりきれいに表示できますが、16色対応の場合はモノクロに近い画像になり、256色対応の場合は色が荒く感じられます。

AVIファイルのキャプチャは問題ないが、MPEGでキャプチャしようとすると、「キャプチャデバイスがオープンできません」、または「CODECドライバの初期化に失敗しました」と表示される

原因 1	他のキャプチャドライバが影響している
対処	一度、WindowsをSafeモードで起動し（「F8」キーを押しながらWindowsを起動する。）[コントロールパネル]→[マルチメディア]→[デバイス]→[ビデオキャプチャデバイス]下に表示されるデバイスをご確認ください。 本製品のドライバは[MSVIDEO BrookTree PCI Video Capture Driver]と表示されています。これ以外に表示があるようであれば、その表示をダブルクリックし、[削除]ボタンをクリックして削除してください。

原因 2	サウンドカードが対応できない形式を設定している。
対処	[録画パラメータの設定]（71ページ）で［オーディオ設定］を変更してください。

【その他のトラブル】

動作が安定しない

原因	何らかの原因で環境ファイルが壊れている。
対処	【I-O DATA VideoRecorderを削除するには】（80ページ）もしくは【I-O DATA VideoRecorder DSを削除するには】（102ページ）を参照し、ドライバを削除後、再インストールしてください。 アプリケーションの再インストールは【1.アプリケーションのインストール】（54ページ）を参照してください。

リソースの変更方法

本製品と他のデバイスのリソースが競合もしくは共有（シェアリング）されていると正常に動作しない場合があります。
ここでは、リソース（主にIRQ）の変更方法について説明します。

対処 1	本製品を取り付けるPCIスロットを変更してお試しください。 （取りつけるPCIスロットを変更することでリソースが変更される場合があります。）
対処 2	[デバイスマネージャ]より[コンピュータ]をダブルクリックし、本製品に割り当てられているIRQが、他のデバイスでも使用されていないかをご確認ください。（IRQステアリングホルダという表記は、存在しても問題ありません。） 同じIRQを他のデバイスで使用している場合には、そのデバイスのIRQを変更するか、取り外す等してご確認ください。
対処 3	パソコン本体のBIOSのリソース設定を変更してみてください。 （詳細は各マザーボード、パソコン本体の取扱説明書もご参照ください。） **参考（IRQの変更をするには？）** IRQの変更は、[デバイスマネージャ]上からは行えない事が多く、通常パソコン本体のBIOS設定から行います。 BIOSの設定方法は各メーカ様により異なりますが、PCIスロット毎に任意のIRQを割当てられるタイプや、特定のIRQを予め予約設定にするなどというものがあります。詳細は各マザーボードパソコン本体の取扱説明書もご参照ください。

対処 4	以下の手順に従って、本製品のリソースが他のデバイスと競合もしくは共有されていないか確認し、競合もしくは共有しているデバイスのリソースを変更します。 （本製品のリソースは変更できません。） （取り付けるPCIスロットを変更することでリソースが変更される場合があります。） Windows 2000の場合は、125ページをご覧ください。

《競合先デバイスの確認》

① Windows Me/98/95起動後、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]を選び、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

② [コンピュータ]をダブルクリックしてIRQ一覧画面を表示します。
「GV-VCP Series WDM Capture (Bt878 Audio Section)」もしくは、
「GV-VCP Series WDM Capture (Bt878 Video Section)」と競合
または共有しているデバイスがないか確認します。
あれば以下に手順で競合もしくは共有しているデバイス側のリソースを変更してみてください。

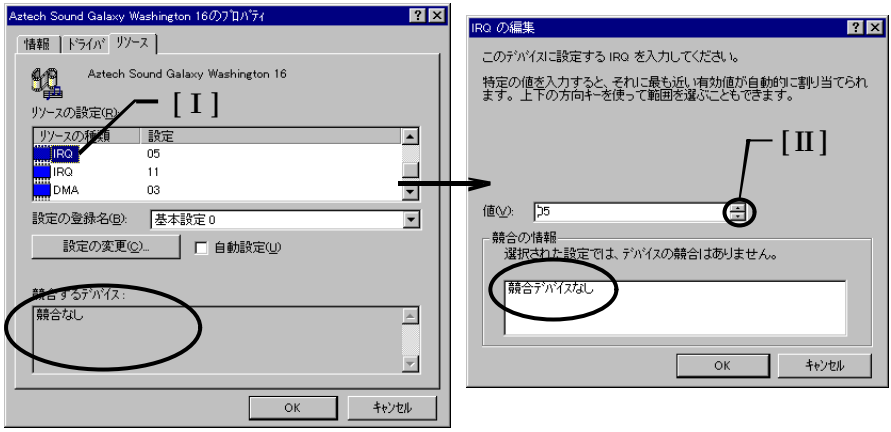
《デバイスのリソース変更》

③ [デバイスマネージャ]タブをクリックします。

④ 競合もしくは共有相手のデバイスをダブルクリックします。

⑤ [リソース]タブをクリックします。

⑥ 次ページの図のようにリソースを変更します。



「競合するデバイス」に「競合なし」と表示されている場合がありますが、競合を確認しているので、[I]をダブルクリックします。右上の画面が表示されたら、[II]をクリックして、「競合デバイスなし」となる別の値を選んでください。

パソコンの環境によってはリソースの変更（主にIRQ）ができない場合、パソコン本体（マザーボード）のBIOS設定で、PCIおよびISAバスのIRQ割り当てを変更する必要があります。詳細はパソコンメーカーへお問い合わせ頂くか、マザーボードの取扱説明書をご覧ください。（PCIスロットを変更することで、IRQが変更される場合があります。）

⑦ [OK]ボタンを数回押してコントロールパネルを終了すると、Windows Me/98/95の終了確認画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックして、Windows Me/98/95を終了します。（パソコンの電源をOFFにしてください。）

⑧ リソースを変更したデバイス（インターフェイス）の設定をWindows Me/98/95と合わせるため、ディップスイッチまたはジャンパスイッチで変更してください。（詳細は、設定変更するデバイスの取扱説明書を参照してください。）

Windows 2000の場合

《競合先デバイスの確認》

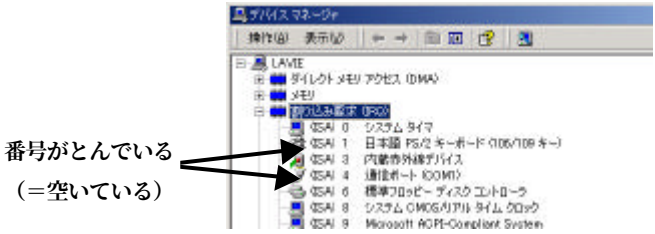
① Windows 2000を起動後、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル］をクリックし、［システム］をダブルクリックします。

② [ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。[マイコンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選び、[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

③ [表示]メニューの[リソース（種類別）]を選びます。

④ [割り込み要求（IRQ）]をダブルクリックして表示されたIRQのうち、「GV-VCP Series WDM Capture（Bt878 Audio Section）」もしくは、「GV-VCP Series WDM Capture（Bt878 Video Section）」と競合または共有しているデバイスがないか確認します。
あれば以下の手順で競合もしくは共有しているデバイス側のリソースを変更してみてください。使用されていない（空いている）番号があれば、割り込みが空いていることになります。

2番と5番の割り込みが空いている例



困った時には

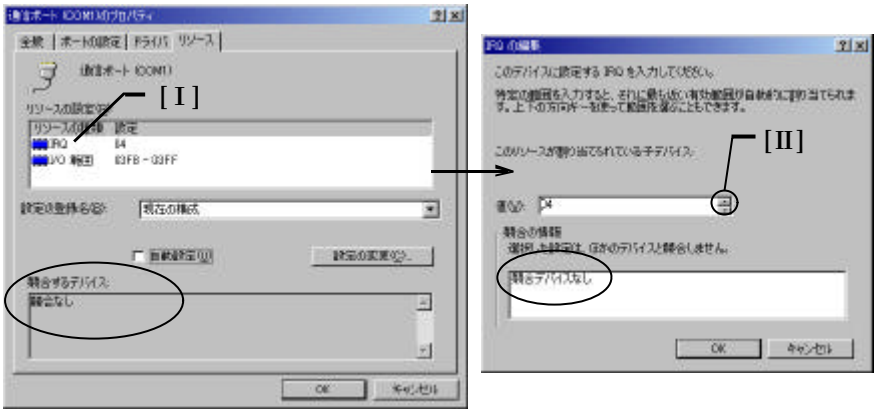
《デバイスのリソース変更》

⑤ [デバイスマネージャ]で[表示]メニューの[デバイス（種類別）]を選びます。

⑥ 競合もしくは共有相手のデバイスをダブルクリックします。

⑦ [リソース]タブをクリックします。

⑧ 以下の図のようにリソースを変更します。



「競合するデバイス」に「競合なし」と表示されている場合がありますが、競合を確認しているので、[Ⅰ]をダブルクリックします。右上の画面が表示されたら、[Ⅱ]をクリックして、「競合デバイスなし」となる別の値を選んでください。

パソコンの環境によってはリソースの変更（主にIRQ）ができない場合、パソコン本体（マザーボード）のBIOS設定で、PCIおよびISAバスのIRQ割り当てを変更する必要があります。詳細はパソコンメーカーへお問い合わせ頂くか、マザーボードの取扱説明書をご覧ください。（PCIスロットを変更することで、IRQが変更される場合があります。）

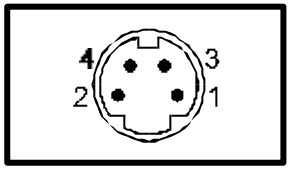
⑨ [OK]ボタンを数回押してコントロールパネルを終了すると、Windows 2000の終了確認画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックして、Windows 2000を終了します。（パソコンの電源をOFFにしてください。）

⑩ リソースを変更したデバイス（インターフェイス）の設定をWindows 2000と合わせるため、ディップスイッチまたはジャンパスイッチで変更してください。（詳細は、設定変更するデバイスの取扱説明書を参照してください。）

仕様

信号処理方式	YUV4:2:2
割り込み(IRQ)	PCIシステムによる自動設定（1ヶ使用）
メモリマッピング	PCIシステムによる自動設定
NTSC入力仕様	NTSCコンポジット：1V $_{P-P}$ 75Ω Sビデオ　　：1V $_{P-P}$ 75Ω
コネクタ	コンポジットビデオ入力：RCAピン×２ Sビデオ入力：ミニDIN 4ピン×1
電源	＋5.0V ±5%
温度	0℃～+40℃
湿度	20%～80%（結露なきこと）
消費電流	最大 5.0V 0.5A
サイズ	119.91㎜×77.00㎜(板金・コネクタ含まず)

S-VIDEO



端子番号	信号名	方向	意味
1	GND	―	
2	GND	―	
3	Y	入力	輝度信号
4	C	入力	色差信号

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号および FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地 アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「GV-VCP2M/PCI」係　宛

■電話

電話番号	**本社**	**076-260-3646**
	東京	**03-3254-1036**
受付時間	**9:30 ～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）**	

■FAX

FAX 番号	**本社**	**076-260-3360**
	東京	**03-3254-9055**
宛先	**株式会社アイ・オー・データ機器**	
	サポートセンター「GV-VCP2M/PCI」係　宛	

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→　「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料および手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地
アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「GV-VCP2M/PCI」　サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30 ～12 :00　13:00 ～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  - ◇ 保証書がない場合
  - ◇ 保証書の所定事項が未記入の場合
  - ◇ 逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  - ◇ 落雷などの事故による破損の場合
  - ◇ 本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「GV-VCP2M/PCI」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「GV-VCP2M/PCI」 サービス窓口
電話番号　金沢 076-260-3663
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

GV-VCP2M/PCI 取扱説明書
2001.Mar.23 73443-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000-2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。